

「森林づくりに関する税検討委員会報告書（骨子案）」に対する
パブリックコメントの概要

1. 意見募集期間

平成24年6月12日（火）から7月11日（水）まで（30日間）

2. 周知方法

- (1) 県政記者クラブへの資料提供
- (2) 三重県ホームページ（三重県、三重の森林づくり）への掲載
- (3) フェイスブック（みんなで支える森林づくり・三重）への掲載
- (4) 農林水産部みどり共生推進課、各農林（水産）商工環境事務所森林・林業室、情報公開・個人情報総合窓口での配布

3. 意見募集の結果

(1) 意見提出の方法と受付数

郵 送	ファクシミリ	電子メール	合 計
81	134	57	272

(2) 税導入に対する考え方による仕分け結果

項 目	件 数
賛意を示していると判断されるもの	227
内、要望など条件を付して賛意を示すもの	110
疑問や課題を指摘しているもの	7
その他（骨子案の内容についての指摘や意見等）	39
合 計	273

税導入には賛意を示しながらも、課税方式に対する疑問を呈するものが1件あったため重複して計上しています。このため、合計件数が受付数と一致しません。

(3) 項目別延べ意見数

項 目	意見数
1. 報告書（骨子案）の記述内容に対する具体的な指摘	26
2. 報告書（骨子案）の内容に関連する意見	170
3. 税収の用途についての要望	145
4. 県への意見・要望	40
合 計	381

4. 意見内容のとりまとめ

いただいたご意見について、別紙のとおりとりまとめました。

1. 報告書（骨子案）の記述内容に対する指摘と対応

報告書（骨子案）の記述内容に関して具体的に指摘いただいた意見について、以下のとおりまとめました。これらの意見に対する対応については以下のとおりです。

番号	指摘箇所	意見概要	検討委員会の考え方 最終報告書への対応
1	2ページ 都市部における緑地公園 3ページ 基本方針② 「都市緑化や緑地公園整備…みどりあふれる街づくり」	都市部の「緑地公園」の整備や都市緑地なども必要だと思うが、それらは「森林づくり」ではなく、純粋に災害対策や都市計画ではないか。	防災の観点から平野部・都市部においても必要な森林として、海岸林や緑地公園を位置づけています。森林や緑を都市住民にとって身近な存在とすることが、広い意味で災害に強い森林づくりを県民全体で支えることにつながるという考えから、幅広く「森林づくり」として捉えています。
2	1ページ 三重県の森林を取り巻く情勢	採算性の悪化や担い手の高齢化などから植栽や間伐などの手入れが不足した森林が増加し森林機能が低下していると書いているが、その対策などが書かれていない。	「災害に強い森林づくりの施策」として整理しています。
3		間伐をしていない山林が、災害に弱い山林であることが書かれていない。	イメージ図を追加し、間伐しない場合の将来の姿を記載しました。
4	2ページ	「植栽や間伐などの手入れが不足した森林が増加しており、森林の機能の低下が危惧されている」との記載について、例えば「林業が最盛の時代には大きな水害が起これにくかった」ことを示す数値などのデータを記述してはどうか。	「緑の循環」が適切に循環していれば、結果として森林の公益的機能が維持されると考えており、その点について記述しております。
5		獣害対策に関する項目を明記すべき。	獣害被害の増加が、森林所有者の経営意欲低下につながり、荒廃森林の増加につながっていることを記述しています。獣害対策を目的とした事業は提案に盛り込んでいませんが、災害に強い森林づくりを進める上で獣害対策は必要と考えます。
6	1ページ 三重県の森林を取り巻く情勢	木材価格の低下により採算性が合わない。	木材価格の低下や人件費高騰等による林業採算性の悪化についての記述をしております。
7	2ページ 災害に強い森林づくりの必要性	災害に強い森林づくりの必要性の前に、三重県の地形(地理)などの説明も加えた方が良い。	本県の地形・地質・気候についての記述を加えました。
8	1ページ 森林の働きと恵み	お手盛り表現となっており、過剰イメージを与える危険性がある。森林の多面的機能を強調する余り、森林イメージが先走り、現実との乖離が起きることも心配。視覚的伝達を中心に、総括的イメージの方が良いのではないか。	「森林の働き」をイメージできる図を追加しました。
9	1ページ 三重県の森林を取り巻く情勢 森林・林業の現状と課題	より詳しく説明すべき。県内の森林で問題となっている様々なパターンを分かり易く紹介し、因果関係も含めて包括的な理解を得ることが重要。立場を越えて森林の将来に対する危機感を県民で共有することが最大の要点である。	関連するデータを追加し、詳細に記述しました。
10	3ページ 災害に強い森林づくりの施策	基本方針①と②が並列的に記載されているが、県民の生活環境を保全する基本方針①「災害に強い森林づくり」が②と比較すると重要である。並列的表記ではなく、優先順位を明確にすべきではないか。	基本方針①と②については、「施策の基本的な考え方」の中で整理しました。

11		深層崩壊の例に限らず、そもそも森林づくりでは限定的な減災しか出来ないことは明白なはずだが、この骨子案では「災害に強い森林づくりで災害の大部分が防げる」と県民に過度の期待(誤解)を抱かせるものである。	ご指摘を踏まえ、間伐などの適切な手入れを継続することで、災害発生時のリスク軽減や災害発生時の減災効果が期待できる旨の記述を加えました。
12	1ページ 頻発する自然災害	この表現では、台風で発生した山崩れが森林管理とつながるように読める。大規模な深層崩壊においては上部の森林の役割は全く関係しないことが明らかになっていることを承知した書き方に変えるべき。	
13	2ページ 災害に強い森林づくりの必要性	森林管理に下流への被害の責任があるように書かれているが、実証されているのか。本当にそれが軽減できる森林管理などというものが有るのか。説明が必要。	
14	2ページ 三重県の森林を取り巻く情勢	多面的機能、公益的機能と「生産林」「環境林」の位置づけの整理が解りにくい。木材生産(公益的機能ではない)を目的に整備して公益的機能の発揮を図るという表現も矛盾している印象。誤解の無いように、「生産林と環境林は二律背反するものではなく、表裏一体のものである。」ことで整理すべき。	「生産林」の記述について、持続的な林業経営を行う中で、公益的機能も発揮する旨を追加しました。
15	3ページ 基本方針 「暮らしの安全…」	老木除去とあるが、老木は環境保全上貴重な存在である。「安全な老木」は間違っても除去してはならない。除去するのは「危険木」である。誤解されないよう必ず修正すること。	「危険木」に表現を改めました。
16	4ページ 【必要となる経費】	税額の算定基礎となるのだから、想定する必要額の根拠資料を添付する必要があるのではないか。	想定する事業規模を記述しました。
17	3ページ 基本方針 「その他、地域の実情に応じて実施する対策」	具体的に都市緑化がどのような事か説明が欲しい。環境税を使うべきものか理解しにくい部分がある。	内容欄を追加し、詳細を記述しました。
18	3ページ 災害に強い森林づくりの施策	災害に強い森林づくりとあるが、災害とはどの程度のものを指すのか。	間伐などの適切な手入れを継続することで、災害発生時のリスク軽減や災害発生時の減災効果が期待できる旨の記述を加えました。
19	2ページ 災害に強い森林づくりの必要性	災害に強い森林 = 人工林(スギやヒノキの針葉樹)ではないと思う。山林内で発生している土砂崩れは自分が見た中では全て人工林である。災害に強い森林 = 天然林(広葉樹)だと思ふ。	本県の私有林は、人工林が6割を占めていることからすれば、ここへの対策が必須と考えます。イメージ図を追加し、間伐しない場合の将来の姿を記載しました。
20	5ページ 費用負担の方法	なぜ県民税均等割超過課税方式を選んだのか。県独自の税制度はできないのか。	この方式は、既存の税制度を活用することから仕組みが簡便で、徴税コスト等も新たな税の創設より抑えることができ、県民や企業に広く公平に負担いただくことが可能となります。
21	5ページ 8. 新たな税制度	家屋敷等を有するが、市町に住所を有しない者も同様に賦課するのか。	県民税均等割超過課税方式なので、現行制度において均等割が課されている方について、超過課税の対象となります。
22	5ページ 8. 新たな税制度	個人の課税されない方 の「…前年の合計所得額が125万円以下の方」の所を「140万円以下の方」など見直し、検討をしていただきたい。	「125万円以下」は、現行の個人県民税の制度であり、県民税均等割超過課税方式は、現行制度が適用されます。
23	5ページ 8. 新たな税制度	個人負担が85%に対して、法人が15%の算出方法に対して、もっと具体的な説明が必要かと思われます。	具体的な金額を追加しました。

24	5ページ 8. 新たな税制度	県民税の均等割で負担することは、納税者にとって非常に分かりづらい。別途の税を創設する方が目的も明確になり、使途も明らかになるので、納税者としては分かりやすい。	県民税均等割超過課税方式は、既存の税制度を活用することから仕組みが簡便で、徴税コスト等も新たな税の創設より抑えることができ、県民や企業に広く公平に負担いただくことが可能となります。また、基金などにより既存財源と区分すること、評価検証制度を取り入れることにより、使途等を明確にすることが可能となります。
25	5ページ 8. 新たな税制度	今後、『広く公平に負担』との同様の理由で、こういった事案においても、県民税均等割超過課税方式が使われる非常に危険な論理と考える。	税の導入は納税者に対して新たな負担を求めるものであることを踏まえ、県ならびに県議会において十分に議論し、納税者に対して十分に説明を行い、理解を得るべきものと考えます。
26	5ページ 8. 新たな税制度	当該税制度を適用することで、実際に見込まれる税収を具体的に試算(前年度の法人県民税額を基礎として計算)し、表記した方がよい。	参考資料として、第3回検討委員会資料 No1-2 を追加しました。

2. 報告書（骨子案）の内容に関連する意見

報告書（骨子案）の内容に関連する意見として、以下のとおりまとめました。
これらの意見への対応については以下のとおりです。

番号	指摘箇所	意見概要	意見への対応
1	3ページ 基本方針① 「伐採後放置された森林の広葉樹林化」	広葉樹の場合、植林するより天然更新の方が森になるのは早い。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
2	4ページ 災害に強い森林づくりを地域社会全体で支える必要性	森林の無い地域の負担について議論されているが、CO2の吸収源等森林の持つ多面的機能は周知のとおりである。この環境を守るのは都市部だけでなく、県民全体としての責任である。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
3	3ページ 基本方針② 「森を育む人づくり」	環境問題を総合的に学ぶ視点が欠けている。自然破壊の仕組みや林業が低迷している理由と打開策、多様な森林づくりの方法等が考えられるように。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
4	5ページ 新たな税制度	税名を「森林づくりに関する税」となると、税の支出の範囲が狭くなる可能性があることから、公園、緑地なども使用できるよう「森林等環境税」など親しみやすく、具体的な言葉を検討できないか。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
5	6ページ 税の用途等の透明性の確保	評価の検証は事業実施前の公表が必要。税金を使用する前に説明することで、仮に事業の効果が少なくとも5年後の税改正後も継続できる。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
6	1ページ 森林の働きと恵み	森林の公益的機能の評価について、古い試算を用いて金額換算しているが、「森林は、環境の構成要素そのものであり、代替物は存在せず、また、森林の有する公益的機能は非常に多面にわたるものである。その効果を全て網羅し得る適当な代替物等を選択し、客観的かつ定量的に評価することは極めて困難であるので、貨幣化された便益は森林の効果のごく一部を便宜的に表したに過ぎない。」ことの前置きが必要。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
7	3ページ 基本方針① 「その他、地域の…」	津波に強い海岸防災林づくりとあるが、(ちなみに広葉樹が津波に強いとか、そんな単純なものでは無い)海岸林が造成された目的は津波対策ではない。津波に対しての効果は限定的なことは昔から知られているし、歴史的にも津波対策として造成された海岸林は殆ど無い以上、その試みが成功するかどうかは未知数である。本来の防風、防潮や保健休養的な機能を発揮する目的で整備すべきである。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
8	3ページ 基本方針① 災害に強い森林づくり	メニューの中で「伐採後放置された森林の広葉樹林化」とあるが、同時に水源かん養や生物多様性確保、地球温暖化防止など、水や命を育む「豊かな森林」につなげるためには、遺伝的多様性に配慮した地域性苗木の使用、確実に苗木を守る防鹿手法の適用、適地適木による植生設計が必要不可欠である。 現在森林の大部分を占める人工林についても、林相転換まで含めた、その場所に合った適切な施業を行うことで、山腹の保全を図っていく必要があると考える。シカの増加に伴い、土砂の流出から山腹崩壊の危険性も指摘されている。災害に強い森林づくりを行っていくためには、単純な植生の復元だけでなく、獣害対策を含めた適切な森林の管理として総合的に取り組んでいく必要がある。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
9	1ページ 頻発する自然災害	樹木の流出に関して。根っこが付いたままの樹木は土砂崩れとともに発生しており、伐った木の流失とは全く異なる評価をして対策を考える必要がある。着眼点をしっかりしないと何でもかんでも森林管理とつなげることは無理がある。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
10	2ページ 災害に強い森林づくりの必要性	都市部の緑地公園は大事であるが建設コストが高い傾向がある。如何に安く作るかを方針に盛り込まないと、集めた税はほとんど都市緑化に使われてしまう。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
11	2ページ 災害に強い森林づくりの必要性	不要木とは何か具体的な定義をすべき。切り捨ての間伐材を谷や川へ放置することが問題であることを認識しないと同じことを繰り返すことになる。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。

12	3ページ 基本方針 災害に強い森林づくり	必要以上に切り捨てられている木を無駄に搬出し、林内の多様性の低下や、無駄な投資を行いかねない。大量の低質材が市場に出て価格を崩すことになりかねない。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
13	同上	「伐採後放置された森林の広葉樹林化」について、広葉樹造林を含むなら不要。草に覆われて木本の生育が難しい時は、造林が容易な針葉樹の苗を、極めて粗放に植林し、獣害対策だけ行っておけば、その生長で環境攪乱が発生して、広葉樹林化がひとりでに進んでいく。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
14	同上	河畔林対策は、生物多様性も含めて極めて重要であるが、その政策はどの河川あるいは溪流に対策を講じるかを定めることが大事であるとともに、河畔林の幅を決めることが非常に難しい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
15	同上	市町による公有林化について、元々、市町の森林管理は決してレベルの高いものではない。そのためにこの方針の目的が明確になっていないと思われる。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
16	3ページ 基本方針 「森林を育む人づくり」	森林学習は非常に大事だが、その方法を確立すべき。北欧で始まり、ヨーロッパに広がった環境教育の LEAF プログラムが、FEE（国際環境教育基金）の指定プログラムになっており、その利用を検討すべき。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
17	全般	どのような森林を造るか明確に解るターゲットが必要。例えば FSC 認証では、原則や基準が明確に公表されている。このようなスキームを活用すれば、政策担当者が変わる度に起こるブレが無く、県民のチェックも可能である。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
18	3ページ 基本方針 「土砂や流木を出さない森林づくり」	大きな土砂災害が発生している山林の多くが、山奥の手入れの遅れた森林である。手入れせず放置荒れた針葉樹林を広葉樹に変換して災害に強い森林に出来ればよい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
19	災害に強い森林づくり	自然災害を防ぐには、人工的に施工したコンクリートの砂防よりも、災害発生元となる山林を整備する方が、災害発生リスクそのものを減らす事が出来る。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
20	全般	本来こうした目的税は国レベルで課税するべきと考える。例えば、炭素税のような形で、一方通行型の資源の利用に対し、課税を行い、循環的に利用できる資源である木材やその利用を推進することを支援するといったグッツ減税、バッド課税の原則に基づいた制度が望まれる。 しかし、現状ではこのような制度が望めない中、また十分な財源がない中で、森林・林業の課題を解決する為、また森林の恩恵を受ける人々が広くその必要性を理解し、支える体制をつくる為に三重県で検討されている「森林づくりに関する税」の導入については賛成である。 しかし使途については良く検討する必要がある。例えば未植栽地への植栽等を安易に行くと自力で伐採、更新を行っている人との間でモラルハザードが起こることが懸念される。 また一部では企業や市民等の参加のもと広葉樹等を植栽する活動も行われているが、植えることが目的化しており、将来の資源利用や森林のあり方まで考えられていないケースも多く注意が必要である。 現在の日本の森林・林業の課題の根本は「木が使われなくなった」ことに尽きる。木が使われなくなった結果、その価値が低下し、生産コストと販売価格が合わないため、間伐が行われなくなり荒廃が進んだ。また更新費用が捻出できずに保育、間伐、主伐、更新、保育...というサイクルができなくなっている。 広葉樹林においても薪炭の利用等が減少した結果、適切な伐採が行われなくなり高齢化した広葉樹林においてカシノナガキクムシによるナラ枯れや萌芽更新が難しくなるなどの原因となっている。里山と竹林の課題も同様で身の回りの竹の日用品が石油由来のプラスチック製品に置き換わり、伐採利用されなくなった結果、人がはいれないような竹藪となり、また森林にも侵入している。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

		<p>再生可能な資源である植物性の資源を如何にうまく使ってゆくかが、これからの県内のみならず、日本、また世界の課題である。本県でせつかく森林に関する税を導入するのであれば上記のような視点のもとに、住宅、家具、日用品、紙製品、或は燃料等に森林からの恵みを活かす社会づくりを目指すことを使途とすることが良いと考える。</p> <p>骨子案では「災害に強い森林づくり」が大きなテーマとなっているが、上記の循環がうまくまわるようになれば結果的に災害に強い森づくりとなると考えている。しかし、条件的にそのような森林管理が困難な森林については税により整備を行うことも適当であると考え。</p>	
21	全般	<p>今回の報告書の目的は、税収増を目的としてのものの様ですが、(その目標には反しますが)山林を所有している身から私見を述べさせていただきます。</p> <p>まず、資産価値の全くない山林への固定資産税を見直す(固定資産税の意味が理解できない)。次に国産木材の価格適正化策を国レベルで見直す。(管理放棄山林は未だ休耕田ほど荒れていない)施策次第で、雇用、税収(資産価値が出れば当然見合った課税が可能でこれが税収増のあるべき姿)増の機会は増す。外国人労働者の活用、搬出路の確保等も必要。山間部の活性化にも繋がる。財源が無いと云って、無策では資源の持ち腐れどころか、山崩れ等を引き起こし、～復旧費用の出費～外国人の所有権取得(尖閣諸島の二の舞)の増加等々とり返しのつかない事態を引き起こす事となる。</p> <p>委員会報告書(案)では森林を木材生産と土砂災害の発生防止、水源の確保等々を挙げているが、森林所有者の側からみると一般の山林所有者の所有目的は植林(主に杉、檜の建築用材)して、30年～50年育成後販売して対価を得る事にある。過去にはある程度の所有面積があれば、それだけで生計が維持できていた。木材の輸入自由化で木材価格は急落(暴落)し50年かけて育成した用材は立木販売価格より、伐採・運搬費用の方が高く、林業経営は成り立たなくなった。国内の一般建築用木材は外材に変わり、国内の山林は休耕田と同じ管理放棄地となった。</p> <p>先祖からの山林を一部受け継いだ私も、定年退職を機に健康増進を目的に夏場と狩猟シーズンを除き、山に入り立ち枯れの木、密生の木等の伐採やフジ蔓の除去など管理のまねごとはしているが、切り倒した木はそのまま持ち出す手段もない。(林道から一山向こうの山等当たり前が現実の日本の山林の現状)伐採した樹木は道路を作って出すか、ヘリコプターを頼んで出すか、昔のようなケーブル線を張り空中を運ぶかしか策が考えつかない。</p> <p>木材価格の見直しが不可能なら、目的から木材生産を外し個人所有の山林を国、地方が買い取り、土砂災害防止、水源確保、二酸化炭素の貯蔵庫、野生動植物の生息地等々の目的に限定し(報告書ではこれだけで、県民一人当り66万/年の効果を確認している)、山林個人所有者にこれ等の効果を背負わせている現状から抜け出すべきである。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
22	全般	<p>現下の経済情勢あるいは消費税等、税を巡る情勢などから、今、県民に新たな税を求めることは厳しい状況にあると思います。</p> <p>しかしながら、森林の荒廃状況は、もう待たないで、このまま放置すれば、県土保全等に将来、県民の安心安全、安心に禍根を残しかねない状況にきています。是非とも災害に強い森林づくりのため、早く森林づくり税を導入されますことをお願いします。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
23	全般	<p>すばらしい骨子案だと思います。早急にするべきです。もっと早くやるべきだったと思います。私も子どもの頃、森林が酸素を生み出し、生物を養い、川を流し、水を清め、海を豊かにしていることは漠然とした知識しかなかったです。人生60数年たち、あちこちで大災害、自然破壊が起こる度に森林整備の必要性を痛感します。それには若い担い手が必要ですから、小中学校からの教育が必要だと思います。学校近くの山林を体験林に提供し、教育実習に利用し、子ども達に森林が、生物多様性の生命を潤している</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>

		事をしっかり教育する必要があると思います。	
24	全般	<p>今までの所有者は、自腹で森林を守り育て、その結果、手入れの行き届いた森林を生産し、川下の消費地へ木材を提供してきた。それは経済活動の結果かもしれないが、水源の涵養、土砂の流出防止などの森林の持つ機能を高めることになったのである。ところが、林業が斜陽産業になり、保育などに公金を使うようになると、個人の資産形成に公金を使うことはけしからん、といった一見筋の通ったような訳のわからん意見がはびこるようになった。川下の消費者は、今まで自分達が、洪水や濁水の心配をせずに生きてこれたのは誰のおかげかわかっているのか。森林所有者が自らの経済活動の成果を森林に投資することによって生まれてきた、森林の公益機能のおかげではないか。こういった観点から、森林税を創設することは、もっと早くすべきであったし、林業に携わっていない者からはより多く出させるべきだと思う。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
25	全般	<p>最近、地元の海で貝が採れなくなってきたそうである。様々な原因があるだろうが、その1つには森林荒廃があると思う。しかし地元の漁師などはこのことにあまり気づいていないのではなかろうか。海に面し、生活の中で少なからず海の恩恵を受けている我々三重県民は海の力の源となる健全な森林づくりにもっと意識を向け、そして協力すべきである。海と山の永遠のパートナーシップのために森林、環境税に賛成である。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
26	災害に強い森林づくり	<p>当地域は、昨年9月の台風により地域住民や河川そしてその上流に位置する森林にまで甚大な被害を受けました。地域住民の位置する下流部につきましては現在復旧作業が行われているところですが、上流部に位置する森林につきましてはまったく手つかずの状況で何時山崩れがおきても不思議ではない状況です。今般の森林作りに関する税の創設については、大いに期待するところがあり、各流域単位での災害に強い森林を造ることは急務であると考えます。このままでは、森林の機能発揮ができず、治山、治水の役割を果たせない森林が増えていく一方です。是非とも早期に実現していただきたいと存じます。又、具体的な事業内容については各地域の実情に即した対策事業を行政と綿密な打合せをとり実施していきたい。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
27	災害に強い森林づくり	<p>昨年9月の紀伊半島を襲った台風12号災害(水害)をみますと、3日間降り続いた大雨で100年に一度の水害が起こりました。河川の水位が急激に上昇し、河川付近の立木を投げ倒し流失させました。河川付近を含め、間伐遅れで、林齢のわりに木が細く、根が張っていない為に水圧によって、根ごそぎ流失したと思われる。河川付近は、間伐されていない為、間伐材の流失は殆どなく、山抜け(深層崩壊)により、土砂・立木・草木等全て河川まで流失させてしまいました。よって、下流で鉄橋等に詰まり被害を拡大させてしまいました。今回の災害から、学んだことは今まで以上に森林整備(間伐)に力をいれ、山林の手入れを推進し健康的で、災害に強い、山づくりをして欲しいです。たとえば、河川付近の流域間伐を進め、河川付近の間伐材は搬出し有効利用すること。また、搬出できない場合は、今回の水害水位を見極め、適切に処理すること。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
28		<p>最近特に雨による災害が多く、報道でも山の深層崩壊などが取り上げられたりもしていますが、それでも山と特別につながりもなく、ごく普通に生活している人にとっては、下草のまったくない森林の持つ崩壊のリスクなどはなかなか理解しがたいものだと思います。多くの人に納得してもらい、三重県に森林が安全かつ持続可能な森林へと変革できる税制が確立されるよう願っています。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

29	災害に強い森林づくり	<p>昨年の台風12号後に被害状況を確認して感じたことは、山林崩壊した箇所ほとんどが、手入れもされず放置した山林で発生しており、その土砂・木材が河川に入り下流に流出し被害を拡大させているものでした。上記のような箇所で山林崩壊があっても下部の森林で手入れが適正におこなわれている箇所では、土砂流を樹木がせき止め、河川や民家への流出を食い止めている箇所も多く見られました。このようなことから山林の災害にもたらす影響というのはいくらか大きいと考え、以下のような意見(要望)を記載致します。</p> <p>手入れ不足の森林を少なくする。 森林整備(間伐等)に関しては流域単位で実施する。 山林所有者が負担なく森林整備を行えるような仕組みを検討。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
30		<p>社会保険料が上がり、上がるであろう消費税、その中で森林税導入、我々庶民は身を削られる思いです。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
31		<p>森林の持つ公益性の面から、整備に関する補助金が不必要なくらい出ている。然るに間伐材の搬出が条件の場合もあり、出材に一層の拍車がかかり、それだけでなく需給のバランスがくずれつつあるところに、過剰な供給があるため、極端な需要不足に陥り、材価の暴落はおろか、売りに売れない惨状になっている。森林づくりの税もよいが、出口(デマンド)サイドの諸策が急務である。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
32	災害に強い森林づくり	<p>昨年9月の台風12号による被害は、大変なものでした。あちらこちらで山が崩落して、土砂や立木が谷などに流れこみ、その流れが土砂流のようになり、下流に甚大な被害を及ぼしました。ここまで被害を大きくした原因のひとつは、山林の間伐遅れなど放置された立木が細く根も張らず、光の差し込まない林内には下草も生えず、土の表面がむき出しの状態になり、そこに大雨が降ると、耐えきれなくなった地盤が立木と共に崩落してしまうのではないかと思います。このようなことから、これまで以上に森林の整備を推進し、災害に強い森林を作っていただきたいと思います。それに、伐採後、放置された山林もたまに見かけます、そういう山林も植栽するとか整備していただきたいと思います。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
33	全般	<p>報告書の内容は極めて有意義だと考えます。今、個人(森林所有者)の力で森林を守る事は限界です。木材価格の長期低迷、担い手の減少等により、経営として、整備、管理していくことが不可能になっており、多面的機能の発揮、特に水資源の確保、防災面で危惧できる状況を招いています。森林は県民共有の財産であり、県民、特に都市住民の理解、協力なくして、機能の高い豊かな森林をつくることは困難となっており、地元の木を積極的に使って山本へ利益を還元すること、森林の再生を妨げている獣害対策、森林整備の推進策が急務となっています。また、森林の重要性を理解していただくため学校教育や都市住民への啓発等への取組強化も必要と考えます。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
34	全般	<p>「三重の森林の課題」という参考資料の図-3に示す通りだと感じております。残念ながら現在、戦後植栽された人工林を伐採して投資金額を回収し、かつ50～60年間の投資利息など到底回収できる状況でない今日、林業の経済活動だけでは森林における、三重の環境保全は不可能だと感じています。森林の持つ災害防止機能や水源涵養機能により、私たちの生命、財産は護られているのだという知識を、全県民が持ち、人工林は公共の財産であるということを、全県民が認識し、三重県の厳しい財政状況で、県民として何をすべきか考える大切な時期だと思っています。ぜひ県民の皆さんに自分たちの時代だけではなく、子供や孫、ひ孫の世代まで、安心して三重県で生活できる、環境を作り上げていくには、今すぐに山の手入れをする必要があることを理解してもらい、森林環境を保全していただきたいと思います。ぜひ、新たな税制度を作っていただきたいと思います。年額1000円なら喜んで納税させていただきます。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

35	全般	日本は有史以来、自然的・地形的な条件等もあって、「森の文化」や「木の文化」が発達し、それが日本の良さを形作ってきた。しかしながら、戦後の高度経済成長を経てきた中で、そのことを多くの国民・県民は忘れてしまったように感じている。地球規模の環境問題が叫ばれる現在社会の中であって、今こそ原点に戻って、日本の独自の良さを見つめなおし、「森の文化」と「木の文化」の復権を図るべきと考える。伊勢神宮を擁する三重県にこそ、その考え方をリードする責任があるのではないだろうか。以上のような考え方に立ち、そのための社会づくりを行うために「森林づくり税」を創設し、活用することに賛成である。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
36	全般	当県は県土の3分の2が森林であり、昔から種苗等も盛んな林業県でもあります。しかしながら林業の低迷や、林業の若者離れも進み、林業の荒廃も急速に進んでおります。それによって、奥地等道から遠い山については殆ど手入れをされていません。それによって、近年のゲリラ豪雨によってすぐに林地崩壊になってきます。それを防ぐためには、山の手入れしかありません。環境保全を目的とした人工林の整備また、県民の皆様が飲んでいる水も奥地の森林から供給されるものです。従って、水環境の保全にも、県民の皆様が森林税を負担されこれからの子供達の為にも住みやすい、暮らしやすい、働きやすい県にすべきではないかと思えます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
37	3ページ 災害に強い森林づくりの施策	環境に興味を持つ、森林づくりに興味をもつ子供たちを教育することは大切、身近に多機能面を感じてほしい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
38	5ページ 災害に強い森林づくりの財源	森林づくりには、財源が必要なので、是非制度を活用して森林の整備や管理をして継続性のある林業を実現して欲しい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
39		ここ数年、御浜町や近辺の過疎化が進み、地元での就職も難しい状況です。せっかく森林に恵まれたこの土地で林業関係の仕事が減っています。このような状況を森林づくりの税金を少しでも改善して活かしてほしいと思えます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
40		森林づくり税は賛成です。日本の景気は悪く、国内の林業界も、価格低迷や高齢化により、森林が放置され荒廃が進んでいるように感じる。そのため、災害にも弱く、各地で被害が出ている。災害の抑制に繋がるように使って欲しい。森林荒廃は木材産業の価格低下により産業として成り立たないからで、需要を増やし、価格上昇の見込めるお金の使い方を考えて欲しい。そうすれば森林の整備も素材生産者がすることができ、持続可能な森林が増えるのではないのでしょうか。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
41		県民納税者を対象としているのが良い。他の県でも導入されている話を聞いたが、その使い方や結果成果を周知することも必要ではないか？ 近年、木造住宅の着工数が少なく、木材消費は低迷し、素材業者から製材業者まで、厳しい状況が続いている。消費が回復するよう考えて欲しい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
42	3ページ 災害に強い森林づくりの施策	災害に強い森林づくりのためには、さまざまな施策がありますが、やはり「林業」が活性化されるような施策が必要だと思います。利用間伐ができれば林内に木がなくなるので、流木が少なくなり、また、主伐を行ったとしても再生林がされると思います。 森林は一度対策(間伐等)を行ったとしても、数年後には再度必要になります。林業がしっかりと業として成り立つことができればこれからは新たな財源の必要なく災害に強い森林づくりができていけると思います。 その為には木材価格の低下を止め、安定的な木材価格を実現できるような施策が考えてもらいたいです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
43		この厳しい時代、「また税金か」と思うと反対したいが、資料を見ると「やむを得ない」という気がするので賛成です。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

44		消費税が上がるので、税金が増えるのは嫌ですが、自分たちの手で三重県の環境を目に見えて守ることができるのであれば容認します。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
45		森林のみならず、川上、川下一体で物事を考えなければ、バランスが崩れると思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
46		災害のおこらない森林づくりは、必要な事と思います。しかし、それに伴い、搬出される木材が現在、市場にあふれ価格が下がり、ついには売れなくなっています。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
47		賛成です。詳しいことはわかりませんが、急な高度経済成長を遂げている中国の環境に対する意識の低さによる影響が大きいと思われます。オゾン層破壊などは、特にその産物ではないでしょうか。地球規模で起こりうる災害であるため、世界にもっと訴えろと共に大きくもっと日本がリードしていくべきと思われる。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
48		賛成です。日本にはこの大切は森林の恵みがたくさん存在しています。空から海へ、海から山へ、そして又山から海、海から空へと環境、生態は循環しているのです。それ故、その重要さの意識づけが必要と思われます。PR 意識づけ、小さい頃からの教育が肝心です。今すぐ始めましょう。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
49	災害に強い森林づくり	昨年台風により、東紀州地域などで甚大は山地災害が起こりました。昨年大規模な災害がたびたび起こり、このような災害のニュースを聞く度に、災害に強い森林づくりの重要性を感じます。また、このような災害が起こるたびに川に土砂が堆積し、雨が降るたびに洪水の心配があると聞いています。このことから、災害に強い森林づくりと共に治山ダムや、川にたまった土砂を取り除くことも大切ではないかなと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
50	災害に強い森林づくり	山元で暮らす者にとっては身近な山づくりですが、町中で暮らす人たちにとっては、「災害に強い森林づくり」と言ってもピンとこないのではないのでしょうか。もっと、現状やなぜ大切なのかと言うことをPRすることが大切だと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
51	森林環境教育	木づかいメニューの中のイスや机の木質化などは、ばらまきのように感じます。もちろん小さい頃から木に触れるということは大切ですが、市町交付金制度を取り入れるなら、その中で必要な市町は行えば良いのではないのでしょうか。森林の働きは学校の中でも行われているようですが、手入れの行き届いていない森林が多いこと、それによって災害の危険があること、などの現状についても、子供たちはもちろんのこと教育委員会などと連携して先生方にぜひ伝えていって欲しいと思います。また、森林環境教育に興味のある先生に対して、体験学習など研修の場を作ってはどうかと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
52	3ページ 災害に強い森林づくりの施策	森林づくりには、長い時間が必要です。苗木等を配布して山に植林の機会を与える。ボランティアや活動	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
53	1ページ 三重県の森林を取り巻く情勢	賛同します。テレビ放送で「里山の風景」という番組には、まさに必要とされる今がありました。この小さな里山という枠のなかに凝縮された山、海、人間、動物という循環の世界が、存在しています。過疎化と高齢化という現実の中、今の若者にネットを通じて復活を訴えてみてはどうでしょうか？なかなかやってくれと思います。核家族化が進む今、枠を越えて伝えていく必要があります。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
54	全般	災害防止の面からも、野生生物を守る(生息地を奪ってしまわない、里の農作物を荒らさない)という面から森林を適切に管理してほしい。森林を相続することが、困難な状況にある(税金等)ため、手放さざるをえない人もいと聞きました。豊かな水源を守るために国が買い上げて管理するなどの策も早期に実現してほしい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

55		森林を取り巻く状況は、近年非常に悪化する傾向にある。手入れをせずに放置された森林、伐期を迎えても材価が安く、赤字になるため、伐採されずに射る山林など、このような山がたくさんみられると思う。山には適正な時期の適正な伐採、そして植林というサイクルを守り、山を育てるそのことが、災害に強い環境を作ると思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
56		森林の働きと恵みは、県民にとって無くてはならない恩恵を受けております。蛇口をひねれば水が出る。頻発する自然災害を少しでも少なくする。酸素を吸収しCO2を吸収、森に遊び体力を作り、環境教育の場を提供する。その為にも、森林整備は欠かすことができません。日本の森林の公益的機能は、毎年74兆9900億円、三重県では1兆2400億円もの恩恵を受けており、「環境税」の導入は遅きに失しておりますが、早急に導入される事を望みます。 又、あくまでも森林整備に限った財源とし、他の歳入と区別するのは勿論の事、税の使途等の透明性の確保、と評価検証は絶対必要です。県民一人一人の税の重みに答える為にも、正しく使われ素晴らしい県土にしてゆくべきです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
57	全般	木材価格の低迷により手入れ不足となった森、これがもたらす森林機能の後退は、地球温暖化を皮肉にも助けていると思う。手入れ放置の山林は公費(新税導入)を使ってでも公益的機能を発揮する山へと誘導し、災害に強い、針広混交林の森づくりに所有者は協力すべきです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
58	3ページ 基本方針	生活環境に密着した公園を整備し、動植物を大切に作る教育や、自然に対する関わり方が学べる共生林を設けてはどうでしょう。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
59	全般	山の整備が機能し、安全な山林、需要が拡大され、県民に役立つものと考え、賛成します。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
60	全般	近年、森林の自然災害が頻発している状況をみれば、「災害に強い森林づくり」を早急に行う必要がある。これに必要な費用は、国や県の財政事情からして期待できない。だとすれば、県民等がその費用を負担する仕組み、すなわち税方式しかないと思う。県民一人あたり年間1000円及び法人の負担で、当面必要な経費をまかなうことができるなら、実施を強く望む。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
61	全般	すべて賛同致します。すべての対策が環境にかかわってきます。1つは世界へ発信続けること(オゾン層の破壊防止)特に中国の発展に公害の対策が遅れていること、黄砂も年々ひどくなっているのがおかし。風向きは日本に来るので、他の公害物も共に運ばれるのではと危惧します。要注意は中国です。国内はPRが肝心、今のところ足りません。環境なら全国民、国を上げて考えるべきです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
62	全般	Iターンに期待と、三重県のアピールをする。三重県の森林を守りたい人と、それを活かす新しい事業を興す人を誘致する。あとは賛同します。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
63	3ページ 4. 災害に強い森林づくりの必要性	全てに賛成致します。道路は舗装、小さな小川もコンクリートの壁で囲まれ、雨の恵みは土にすい込まれることもなく、整備された下水道により、一途川へ、一局集中になるため、水害も多いのではと思われます。そこで長いスパンを見据えながら、コンクリートを(全国です)雨水がしみこんでいくものにつくり替え、湖岸は、間伐材等、これもコンクリートにかえることとします。全てそっくりつくり替える作業に移るのです。 先日、砂浜の砂はない事をニュースで聞きました。これも上流からの流れにより堆積されないからです。ダムも異なる方法に電力を移行すべきです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
64	全般	海の環境と、森林の環境の関係はとって大切だと考えます。森林の保護、それに対して県民の税負担、実現するためには必要だと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

65	全般	森林づくりを行うことにより、教育、財政、災害、全てのことに於いて、有益性、メリットが高く、何よりも次世代の教育等に強い影響があると感じます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
66	全般	新たな税制度を利用し、災害に強い森林づくり、県民全体に森林の大切さを知ってもらうなどして、生活の一部に木材をもっと取り入れていけるように促進して欲しいです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
67	3ページ 基本方針	近年の台風等で県下の各地域で森林の地すべり等による災害が頻繁に起こっている中で、地山傾斜の急な森林の整備が必要となっている。調査～整備(森林整備・施設整備)一体とした整備が必要である。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
68	3ページ 基本方針	最近、県下各地域で皆伐された後、その後植林されず裸地のまま放置されている皆伐跡地が多く見られる。裸地のまま放置していると、災害を誘発する危険性が高いことから、皆伐跡地に対する対策が必要である。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
69	3ページ 基本方針	近年、生活の空間として位置づけられている里山・竹林が荒廃しているなかで、防災面・景観面においても森林整備が必要である。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
70	3ページ 基本方針	小中学生を対象とした課外事業等により、森林環境教育を充実させる。(学校に出向いての森林環境授業・里山等における課外授業等)	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
71	3ページ 基本方針	公共建築物・公園等のフェンス・ベンチ等に地域材の積極使用、コンクリート・鋼製から木材への転換をお願いしたい。(環境に配慮した製品を使用した工法等)	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
72	6ページ 9. 税の用途等の透明性の確保	地域の森林の再生を第一優先に考えていただきたい。必要以上の基準等を設けてしまうと、その事が弊害となり、目的とする森林再生が進まなくなる。また、作業等については森林のプロに任せるのが理想である。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
73		三重県は豊かな森林と海に恵まれた土地である。森林からの豊富な栄養が、豊かな漁場を育てている。森林を早急に整備しなければ、山崩れ等の自然災害が発生するだけでなく、漁場への影響も懸念される。今回の税制度により県民の皆様が、森林が自分たちの生活に重要な役割を果たしていることを認識することができればと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
74		放置林の再生・活用を検討してほしい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
75		森林税を課すとなれば、どのように使われるか、どのような効果がある等、みえる税導入をしてください。森林、林業に関心が高まるようになって欲しい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
76		森林の恵みをありがたく受け、今後もずっと森林を大切に守り育てる必要がある。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
77		関心を持ってもらえるよう、全ての小中学校で環境に関する教育を取り入れてもらいたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
78	全般	戦後、産めよ増やせよの施策が林業でも行われた。価格が高騰すれば、安い海外に依存し、日本の林業は衰退の一途をたどり、高齢化、獣害が追い打ちをかけた。税によって長期的に森林を良くしていくことは必要なことです。中国人に買収されないためにも林業を再度魅力あるものにしていかなければなりません。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
79		林業の重要性や自然災害が頻発しているにも関わらず、山の手入れの際、個人負担額が増加したり、高齢化への対処がもう少し改善できれば。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
80		税金を払うのは国民の義務である。しかし林業に携わるものに非難の声が聞こえてこないように徹底して欲しい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
81		必要なことです。森林づくりには川上から、川下まで水のことから考えて、税は水の方から森林づくりへと行けばベストと思われると思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

82	5ページ 8. 新たな税制度	森林の機能に関する一般常識をわかりやすく、啓蒙しなければ、税負担に異議が出ると思います。特に水資源の確保、治水等県民全体にかかわる問題を前面に出さなければ、林業家のための施策と勘違いされそうです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
83	全般	総合意見としましては、土砂流出や山崩れの災害を起しても崩れないように日頃から森林づくりをして暮らしの安全を強化する必要があります。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
84		採算が取れないことから、林業が衰退していることはご存知のことと思います。そのために、手入れが行われず、放置された人工林がたくさんある状態です。公的な資金で様々な補助があり、この状態を改善が図られていますが、林業に興味がなかった所有者や、世代が代わり自分の所有林の場所さえ分からないことも少なくありません。山里の高齢化も進み、山を知る人が少なくなって来ていますので、まず、所有者確認が進む政策が必要だと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
85		自然災害等の被害は何年も前からあり、最近の事だけではないので、もっと早くできなかったのか？有効に利用できるものにしてもらいたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
86	全般	森林の担う役割の中で最重要視されたいことは、近年頻発する自然災害を軽減することです。川の上流が豊であれば当然川下も恵まれることにつながる。自然を守る難しさと時間がかかる事をもっとアピールしていただきたい。自分たちの生活を守ることを重視すれば、金額的に一人あたりの負担額はもっと高くても良いと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
87	1ページ 3. 三重県の森林を取り巻く情勢	自伐林家さんが、間伐を行った材が林内に放置されているなか、バイオマス材が注目されているが、自伐林家さんが材を搬出したくても、搬出ルートが構築されていないため、材を林内に放置したままの現状です。自伐林家さんの活力を復活又、地域住民の活性化を図るためにも、搬出ルートの構築をおねがいしたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
88	全般	「災害に強い森林づくり」にするためには、山間部に居住する住民・山林所有者だけでなく、都心部に居住している住民にも浸透するような広報活動が必要だと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
89	全般	普段の生活で山の恩恵を受けているので、全般に賛成です。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
90	5ページ 8. 新たな税制度	今の県民のどれだけの人が、山に税金が使われることを知っているのか疑問に感じる。自分も組合に来るまで、税金で事業が行われていることを知らなかったし、税金を使ってどう良くなるのか、理解されるのかと思う。ましてさらに年額1000円の税金が取れるのかと思う。しっかりと県民を理解させる内容の組み立て方をしたいと思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
91	全般	森林税を課すことは、市民に「森林になぜ今お金をささなければいけないのか」という事を考えさせる最も効果的な啓発になると思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
92	1ページ 1. 森林の恵みと働き	県民の大多数は、森林のおかれている現状を解っていない。『三重・森林の日』を制定し、企業、個人を問わず全ての県民が参加するツアーを開催し、森林の現状と大切さを周知することが、まず一歩であると思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
93	2ページ 4. 災害に強い森林づくりの必要性	皆伐により裸山になった放置山林において、大雨による土砂流出などの山崩れの被害が多く、そういった被害を少しでも減少の方向に向かわせる為には、伐採後に広葉樹や針葉樹などの植栽が必要だと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
94	6ページ 9. 税の使途等の透明性の確保	輸入材と競争できる採算性の確保が何よりも重要と実感しました。その為には、林業の大規模化が必須条件となりますが、その足かせとなるのは民有林率82%の実態で有ろうと思います。小規模で成り立たない山林、里山の放置林は公が買い上げ、いや、没収できる法整備も考慮しても良いのでは無いでしょうか。そして、環境林としての自然林化を目指すべきと考えます。元々森林の	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

		<p>多機能は公の物であり、森林、里山を私有化している社会構造に疑問すら感じます。私の周辺は豊かな里山に囲まれています。近年虫食い状態に無意味な乱開発が行われています。土採集の為や廃棄物放置の為の森林伐採そして土壌の露出等、目に余る惨状です。根本には地主のエゴ以外の何物でもありません。林業は農業の置かれている状況と似通っている処があります。徒に林業助成金をふるまう様な甘い施策は農業の二の舞と成りかねません。あくまで自助努力が大前提としての行政支援に限定して欲しいものです。税の徴収に反対は致しませんが、その用途は公益的機能を発揮する環境林の整備に軸足を置いて欲しい。採算性の悪い生産林は切り捨てても止むを得ないと思います。私の持つガソリンカードは「エコカード」と言って、年間500円が世界の環境支援活動に使われています。無論企業が相応の資金を出しているのですが、このような資金の集め方もあります。個人的には環境活動に参加している自負と企業にとっては環境イメージの一助に成っている様です。</p> <p>県下に多くの緑地公園が出来ています。上野の森林公園や菰野の県民の森は理想の森林公園です。リタイヤ組にとっては日々ウォーキングに足を運ぶ絶好の場所です。私の団地を取り巻く里山も最高のウォーキングコースと成り得る要素を持っています。しかし、放置された里山はゴミの放置と竹林の荒廃は目に余るものがあります。市は看板の設置や監視カメラの設置などの施策をしている様ですが「ゴミ捨てるなの看板がゴミとなり」と笑えない状況です。行政のみでは限界があります。地域の自治会を中心にボランティア組織の立ち上げて対処する事も必要かと思えます。その切っ掛けを行政が仕掛ける。例えば、ウォーキングコースとして指定する。隣接地主の了解と参加を得る。大きく多量のゴミを回収する。コースの看板を設置する。日々の整備、監視ボランティア組織立ち上げを誘導し支援する等。県下各地にこのような活動は有る様ですがドンドン拡大して行く事が肝要と思えます。当然に税の用途透明性は担保すべきです。計画、実施、評価、県民の意見集約、改善、計画のサイクルを公開して欲しいものです。</p>	
95	4ページ 6. 災害に強い森林づくりを地域社会全体で支える必要性	<p>県民に伝えなければならぬ最重要項目だと思います。個々に所有権のある森林ですが、森林所有者の実態からみても自発的な森林管理(自助)の限界を超えています。三重の森林の将来継承を実現するために共助・公助の複合形態で公的管理する仕組み作りを考える上においては、森林環境税の果たす役割は大きいのではないかと考えています。より身近な森林に対する環境財としての認識が定着するためのきっかけになってくれれば、意義は大いにあると思えます。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
96	6ページ 9. 税の用途等の透明性の確保	<p>今回の森林税を考えると最も重要なポイントは、税の用途の明確化だと思っています。生産林と環境林の区分というものは完璧な客観性に基づいた分類基準ではなく、あくまでも便宜的線引きであります。従って実際の運用にあたっては、現行の造林補助事業、保安林整備事業、環境創造事業等との補完的な曖昧さが生じないように十分配慮する必要があるでしょう。つまり今回のように限定的な目的税である以上、事業の必然性と実施内容の提示さらには実施後の事業効果が将来どうなっていくのか等、納税者への説明責任を果たせるかが要です。そのためにも県民に分かりやすい事業内容であって欲しいと考えます。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
97	全般	<p>森林環境税導入への必然性についての説明があいまいな点が気になります。「公益的機能・多目的機能」「自然災害の頻発」「財政状況の逼迫」「耐災害森林づくり」等々は、あまりに抽象的過ぎて、従来からのロジックを超えていないのでは…。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
98	全般	<p>経費用途含め事業内容にも最大限の配慮を求めたいと思います。一度県民に理解されない事業になってしまうと永遠に公共の信任を得ることは出来ないでしょう。森林・林業関係者の認識を含め慎重なる配慮を要すると思えます。</p>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

99	全般	森林に恵まれている割に森林に対する意識の低い当県。森林経営計画の及ばぬ山林はどうなるのか。網羅的に考えることよりも、出来ることからやって行くためにこの税金を使ってほしいと考えています。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
100	全般	「三重の森林づくり基本計画2012」では暮らしの安全・安心を支える災害に強い森づくりや利用期に達した人工林資源を積極的に活用し、林業の再生を着実に図っていくとされています。そのためには、それぞれの目的に応じた施策が講じられることが必要で、その財源として、新たな税制度の創設が必要です。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
101	全般	今の木材価格から判断する限り、森林を所有者だけで維持管理することは極めて難しい状況にある。国土保全を始めとする多面的機能を多くの国民が期待しているとの内閣府の調査結果を勘案すれば、本県でも森林づくりに関する税の導入をすべきだと思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
102	全般	森林は地球のエアクリナーです。清浄な水 空気を生み出し、魚や鳥、花、木など多くの生物を育んでいます。森林が機能を発揮しなくなれば、多大な生活への悪影響が心配されます。森林が病にかかる前に手を打っていかねばなりません。そのための税導入は賛成です。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
103		都市部の人への理解を高めて欲しい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
104	自然災害について	昨年9月に発生した紀伊半島大水害では時間雨量160mmに達し大きな災害が発生しました。この雨量は100年に一度と言われていますが、熊野ではここ数年で150mm位の雨が何度も発生しています。今後も地球温暖化で雨の量が多くなりそうです。林業が衰退し山が荒れている現状では今後も昨年のような山地災害が発生する可能性が高いと思われます。寂しい話ですが昔の様に山の立木の価格が良ければ山の手入れも林業家が行うことが可能なのですが、現状では山の木は0円なので皆さんに協力してもらおうしか手はありません。ぜひ今回のこの税を検討成立させて頂き山の手入れをお願いします。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
105	全般	先般の紀州大水害を受けて、森林整備の必要性を十分に感じました。このような災害や、いずれ発生するであろう南海地震に備えて、早急に森林の手入れを行うためには、国の補助だけでは不十分ですので、県税を導入して国土保全、環境整備を進めることを強く望みます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
106	1～2ページ 3. 三重県の森林を取り巻く情勢について	台風による災害で甚大な被害がありました。家の近くでも山抜け等土地ごと流れてきました。雨が降るたびに避難勧告が出ます。安心して暮らせるようになってほしいです。山の関心が薄くなり、高齢化で山の境界がわからなく手入れがしなくても出来なかつたりします。また、植栽するにあたっては、昔は苗を食べられることもなく獣害の対策はしていませんでしたが、今はネットを張らないといけなく資材費等もかかります。山をどう守り、暮らしの中うまく取り入れていくかが必要だと思います。皆伐した後の植栽しなくなってきたそのままになった山林が増えたと思います。山になるには長い年月がかかり、獣害等の被害も多く、昔でしたら、必要のなかった獣害対策のネット等の資材費や山刈等に費用がいります。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
107	全般	材価低迷が続き苦しいので、この制度を検討していただき、ありがたく思っております。補助金に頼るべきではないとは思いますが、現実問題としてなかなか補助金ゼロというのは難しい問題と感じております。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
108	全般	現在、伐採から搬出、販売、植林までのサイクルにおいて、住宅用材の平均コストが24000円/m ³ がかかる中、販売価格の低迷による放置林の増大＝災害の助長に歯止めをかけていただければ森林環境税の導入に期待しております。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

109	全般	以前うわさのあった「環境税」という言葉や「森林づくり」という言葉から受ける印象と異なり、骨子案の中身は防災に特化しています。結局は砂防・治山事業等の工事用の財源とされてしまうのかと思うと、支払い意欲が減退してしまいます。森林の公益的機能全般の恩恵に対してなら税負担の意志はありますが、土砂災害に特化した租税なら「森林づくりに関する税」としてはふさわしくなく、とても賛同できません。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
110	全般	目的税として見れば、災害防止効果の検証が絶対に必要と思われますし、その際は、マニュアルの便益ではなく、実際の効果の検証が求められます。しかし、その手法は確立されていないと思われるので、県民に対しての説明責任を果たすことは非常に困難なのでは?と心配になります。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
111	1ページ 森林の働きと恵み	森林を二酸化炭素の吸収源として位置づける事に関しては、否定的な研究報告が多く、問題だと感じていましたが、今回は貯蔵庫として位置づけていて、誠実な印象を受けました。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
112	4ページ 必要となる経費	木の薫る空間づくりの予算が相対的に低い印象です。ここに力を入れることで、吸い出し効果、波及効果が大きいと期待されると思うのです。例えば、三重の木の家住宅補助はとても良い試みだったと思います。水の流れに例えるならば、強制的にポンプで送り出すのではなく、高いところから低いところに自然に流れるように勾配を付けたり、所々のネック点を解消することに注力して欲しいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
113	全般	森林づくりに関する現状が良く理解できた。この現状を広く県民に理解してもらう必要がある。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
114	1ページ 森林の働きと恵み	災害が起きると森林整備の必要性を感じるが、普段の生活において森林からこのような恩恵を受けていることを意識することが少ないので、もっと県民にPRするべきである。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
115	2ページ 「きづかい」の促進	伐採や除去などの整備と合わせた木材の再利用について、建築材としての利用だけでなく、燃料としての利用についてももっと具体的に考え推進したほうが良いと思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
116	全般	財政状態が厳しい三重県において、森林づくりに対して県民に課税することは必要なのか?の意見を述べたいと思います。災害に強い森林づくりの財源としての必要性は感じますが、果たしてどれだけの人が実感を持って積極的に森林税の導入に理解を示してくれるかは疑問が残ります。反面、災害は明日起こってもおかしくないほど喫緊の課題です。三重県においては、大雨による深層崩壊はすでに起きていることであり、東海・東南海・南海の三連動地震における津波対策の海岸林の整備もままならないのが現状だと思います。また、森林の公益的機能が県民一人当たり約66万円の恩恵を受けているなどと漠然としたイメージは県民に伝わりにくいし、むしろ地球温暖化にかかわる国税の税制改正にともなって温室効果ガスの排出源対策と吸収源対策などに国からの財源確保を求めるべきで、それもひとつの選択肢ではないかと思います。また、水源林として捉えるならすべての県民はその恩恵を受けているわけだから課税にも納得できると思います。三重県は、それだけ素晴らしい森林資源を保有していると思います。私事ですが、平成24年6月7月に(社)大杉谷登山センターが主催の大杉谷登山歩道整備プロジェクトに参加してきました。実感したのは大台山系大杉谷溪谷の素晴らしい自然環境を私自身が体験して感動し、自分たちの手で守らなければならないと感じたことです。ボランティアで登山道整備に参加した経験が、自分たちが住んでいる三重県に対する今郷土愛を自覚できたし、地球的規模の異常気象による、森林環境に対する危機感も感じました。さらには、森林づくりと密接にかかわっている里地里山の保全に対しても、税の使い道として必要だと思います。里山の過疎化対策、獣害対策、すべてをひっくるめた森林環境教育などです。ただし、これらは税として徴収するまえに、いかに大人から子供まで多くの人に啓蒙できるかが重要で、説明不足のまま課税す	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

		<p>るべきではないと思います。</p> <p>結論として、森林づくりに関する税を導入するならば、災害に強い森林づくりに特化してまず導入すべきだし、その他にも林業対策や里地里山保全などの使い道も県民に必要性を丁寧に説明し、納得してもらってから導入したほうが良いと思います。</p> <p>税額1000円が高いのか安いのかはわかりませんが、使い道を明確にして目に見える使われ方をしているかが確認できるようにしてほしい。将来的には、森林づくりに関する税とカーボンオフセットの取り組みを、県民一人一人が参加できるかたちにしてゆけば、一方的に税金を徴収すればそれでのしの状態から、みんなで考える取り組みにしてゆければいいのではないかと思う。</p>	
117		<p>図 - 3 森林の課題に記載のとおり山村の高齢化、過疎化、林業採算性の悪化が森林所有者の森林に対する関心を低下させ、境界が不明確となり、手入れをする意欲を失わせる悪循環に陥っています。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
118	全般	<p>森林は、人間の生活にも密接に関係があるため、県民一人ひとりが税を負担してでも森林を大切にすることは重要であると思われる。皆で守っていききたい。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
119	1ページ 3. 三重県の森林を取り巻く情勢	<p>環境問題や経済問題も含め、たいへん重要な三重県の課題だと考えます。</p> <p>近い将来、世界的に必ず起こる人口爆発は、人間や産業が排出する二酸化炭素処理の問題も森林でないと解決していく方法が無いと考えます。例え斬新な空気を浄化させる機械が出たとしても、それをつくるために空気が汚れてしまいます。やはり、森林を大切に、自然の原理で処理していくことが一番良い方法だと思います。</p> <p>また、ご存じではあると思いますが、三重県は内地産木材取扱量が大変多く、その中で三重県中南勢地域の弱小な経済基盤を考えると、地域の雇用を守るにも森林に関する事業が大切であります。</p> <p>そのような森林を守っていくうえで、後継者問題というも大きな問題の一つだと思います。個人レベルで守っていける時代ではなく、県としても企業をタイアップし森林を守って頂きたいと思っております。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
120	1ページ 3. 三重県の森林を取り巻く情勢	<p>市民一人ひとりが税金を出してでも森林を守らなければならない。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
121	全般	<p>森林づくり税に賛成します。</p> <p>国内でも森林税が導入されている都道府県がありますが、導入されると県民のみどりに対する関心が深まって、環境により良い相乗効果が生れているように思われます。</p> <p>個人の税が増えることは、一時的に負担になりますが、将来性を考え森林に対する意識改革の為に導入した方が県民の為になると考えます。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
122		<p>森林の機能の重要性また必要性をあらためて考える機会をいただきました。</p> <p>森林の多面的機能から見ても、森林づくりを進めるべきだと思います。公益的機能の評価から考えても、県民負担により財源を確保し、より良い森林づくりを進めていってほしいと思います。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
123	全般	<p>森林づくりは直接かかわる人だけでなく間接的の多くの人が恩恵を受けているものと考えます。したがって県民一人ひとりが協力しながら緑の社会資本を支えるべきだと考えます。新たな税制度により財源を確保するにはしっかりと県民に趣旨を伝え、用途の透明性を確保する事が大事であると考えます。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
124		<p>林業事業体としては、間伐があらゆる環境整備に不可欠であることを、もっと訴え、一般の方に知っていただく必要があることをいつも感じています。一般に植林のことは取り上げられますが、本来、間伐がされないことの危険性が全くと言っていいほど知られていません。</p>	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>

		この骨子案に書かれている、「災害に強い森林づくり」を理解して頂くための努力は、森林税を理解して頂くことの中で、「間伐」をキーワードとしての徹底的な訴求によるものと思います。税自体は林業事業者として受け入れるべきと考えます。企業としては厳しいものですが。	
125	全体	農山村の人々が、環境林の維持でも生活が安定できるように、税金を使って欲しい。税金の使い道報告を分かりやすくする方法として、毎年1～2回、視聴者参加型で使い道報告番組を放送して欲しい。 森林環境税の解釈を大きくして不透明な事に使わないようにお願いします。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
126	4ページ 地域の実情に応じて実施する対策への支援	森林の手入れ不足、荒廃は、限界と言えます。森林整備意欲の減退、境界不明確地の増加などを解消し、荒廃に歯止めをかけ、防災面、産業振興面からみて、森林整備を進め、森林機能を回復維持する最後の時(チャンス)です。 そのためにも、新しい税の導入、特徴を待つことなく、当報告書で言われているところの政策を、H25年度当初から予算措置も含め、実行することが必要と考えます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
127	全般	森林税、賛成。1億円は使いたい。荒れた森を救ってほしい。お金を払ったら、改善されたと伝わってくるようにしてほしい。その時だけの改善なら、やる意味がない。 三重県の人払っているから、三重県の人にお金が入るようにしてほしい。希望は、三重県の森林整備を、木造建築を増やす事で行ってほしい。どうしても、支援や補助金に頼ってしまうが、税金の地産地消も大切なことだと思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
128	全般	「災害に強い森林づくり」、賛成します。新たな財源確保のための税は、仕方がない事だと思います。「森林づくり」というと、「森林を支援しなければ」という発想もありますが、それでは税を負担している県民に明らかな説明ができないのではないのでしょうか？三重県産の木が使われないことには、いくら森林を支援しても先が見えていないと思います。多くは望みませんが、1億円は使ってほしいです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
129		森林は、木材生産や水源涵養など、いろいろなことに役立っています。しかし、まだまだ手が入っていないやまがたくさんあります。なので、森林税を使って山の手入れをしてもらいたいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
130		災害防止や、森林整備のために導入すべきだと思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
131	全般	大雨後に山に入ると、よく谷が荒れていたり、林道が崩れていたりするのがよく目立っています。もっと災害後の手入れをしっかりとできないと、二次被害も考えられるし、今後の山が荒れて環境にも良くないと思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
132	全般	いまいちピンとこないですが、森林づくりに本当に使ってくれるなら賛成です。よその山に行った時、全然手入れしていない山を見かけるので、山にもっと力を入れて欲しいです。みんなの山なので、力を入れて保全していきたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
133	全般	昨年9月の台風12号により、紀北町の赤羽地区にも深層崩壊の被害があり、今でも大雨になると河川がにごるなどの影響が出ます。これは、森林の整備及び、治山等により、防ぐことが重要と考えます。県の予算が厳しい中、森林税を導入して、森林整備をすすめるべきだと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
134	全般	間伐が遅れており、土がやせてきているので、台風や大雨がふると山崩れがおきて山の近くに住む人の家や建物などに土砂が流れ込み、大変なことが頻繁に起きているので、森林税を導入してもらって水源の涵養や県土の保全などに利用してもらいたいです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

135		戦後植林された森林が、伐採時期になっているのと同時に森林の荒廃が進んでいます。また、森林の多面的な機能(水源涵養、国土保全)を発揮させる為には、森林整備は欠かせません。森林税を導入することにより、県民が環境に意識を持ち、また将来の子供のためにも一刻も早く、森林税を導入して欲しいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
136	1ページ 2. 頻発する自然災害	自然災害への意識は近年高まったが、一過性の対策にならない様にしてほしい。河川を構造的で固める事も維持管理も含め非効率。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
137	5ページ 8. 新たな税制度	今まで課税がなかったのがおかしい。水や空気等の公益機能は人々が心身共に都市部へ移っていくに従い、低下の一途である。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
138	全般	・管理不足の林分や皆伐放置地等へは、国土保全の為の強制措置も必要。業以外の生態系の多様も守る。 ・エネルギーや水を多量に利用する事業者には課税も比例するようにして、環境への負荷を下げるべき。 ・生産可能な持続的資源である事も重要。 ・森林林業者は社会的意識が高く、健全、永続的でないと税を活かせない。 ・骨子案から今後発展し、森林に関わる人の質を高めて行くことは極めて重要。 ・税導入は必要不可欠だと思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
139	3ページ 災害に強い森林づくり	この中で暮らしの安全を守る森林づくりの予算が少し少ないように思います。確かに他の対策と重複するところが多いですが、災害の初期防止として必要があると思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
140	全般	税金として森林づくりに使うお金を県民から集めること、県民からのしっかりとした理解を得ることが大切だと思います。特に、森林を整備した結果は一般の県民が、身近に感じられることはなかなかないと思われるので、色々な方法で、県民にとって身近なものになるといいと思います。税金が、上手く使われることを願っています。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
141		木材資源の利用を広げるために、税を使って、木材、需要をふやすことができれば森林全体の健全化が図れると思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
142	3ページ 災害に強い森林づくり	資料の中にもボランティア企業による森林づくりの活動だけでは森林づくりは困難と書いてある通り、実際、業として行っている人たちへのサポートが重要になってくると思います。そのサポートが仕事内容によって変えていくのか、(間伐や植生などによって投資する金額に差をつけるなど)、また実際の作業結果を誰がどのように評価するのか、本当にちゃんとした仕事がされているか、形式的な評価でない、シンプルな評価方法と客観的な判断ができる組織の確立を望みます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
143	3ページ 基本方針	強い森林づくりは、以前の大台町の土砂ずれなどの事もあり、急がれる課題であると考えます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
144	3ページ 基本方針	強い森林づくりが、次の世代、その次の世代へと譲っていく上で、教育の分野での意識は大切な事だと考えます。ぜひ、小中学校の学習にも取り入れていただきたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
145	4～6ページ	税収でまかなわなければならないのは仕方ない事だと考えます。予算がなければ、強い森林づくりが出来ないのであれば、賛成します。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
146	全般	森林環境税?の創設に賛成です。但し、その目的と用途について県民に理解しやすい説明をしていただきたい。現行のまま、森林を放置すれば貴重な持続可能な自然を失うばかりでなく、それに伴って水資源も枯渇することになります。又、産業としての林業も成立せず、技術者も後継者も育たないことになります。この貴重な森林資源を採算が取れない事だけで捨ててしまうのは非常に残念なことですし、後の事を考えれば、個人の林業家にも、責任を負わせるのはとても無理な話だと思います。税金はないのが	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

		ベストですが、森林環境を保持するためには、新税の創設は必要であると判断いたします。	
147	全般	伊賀地方も田畑と山の境、山麓に獣害用のフェンスがここ数年で、出来上がってきましたが、鹿等の頭数が増えて、もはや、山に植林さえも困難な状況になっています。「災害に強い森林づくり」は価値の低迷の他に、こういった二重、三重の困難があります。これらをクリアして、しかも継続性の必要があり、しかも公共性の高いものなので、税は、必要だと思います。できれば、県産材は国産材で税は国で、運営されるのがいいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
148	3ページ 災害に強い森林づくり	近年気象も異常が多く、想定外の災害が見受けられます。山が崩れると、その倒木の処理等、非常に困難で(重機等使用できる所はよい)、人力での処理となると、二次災害も予想されます。自然災害にもやられ、また、処理作業でも災害が起きれば、泣き面に蜂である。想定外の災害にも対応できる山づくり、また、災害が起きた時の処理を安全に出来る様にする為に税を利用してきたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
149	災害に強い森林づくりの必要性	不要木を除去し、山の手入れを行い、災害に強い森林づくりに力を注いでいただきたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
150	全般	・獣害に悩まされている中、広葉樹のあり方を考えて欲しい。(天然林施業の推進) ・小中学生の森林教育にも取り組んでほしい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
151		税金をいただいてもいい、川上から川下まで、健全な山、川、郷を建設してほしいものです。山、川、海を守って欲しい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
152	3ページ 災害に強い森林づくりの施策	「基本方針、基本方針」を進めていく為の「必要となる経費」は必要だと思いますので、賛成ですが、基本方針にあるように、「対策・メニュー」等を確実に進めてほしいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
153	全般	(賛成)良い、遅いくらいでは、他県ではしているのに、(現在の個人の山は荒れているだけなので、10年、20年先、山仕事をする人がいなくなる。)もう少し考えな、山で生活出来る様なこと。(今はできない)	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
154	3ページ 基本方針	自然環境の保全と基本方針は表裏一体の関係にあり、災害に強い森林づくりの施策の推進は、強力に進めなければ人類の生存に関わる重大事であると思われる。何をすることも難しい時代ですが、税の用途を透明化し、税制化を図るべきだと思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
155	4ページ 6. 災害に強い森林づくりを地域全体で支える必要性	山林は、個人の所有物であるが、所有はしているが、森林管理に努力はしてくれない所有林は、森林の持つ公益的機能が発揮されていない。三重県型ゾーニングでは、「環境林」と「生産林」に大きく区別された。そのうち環境林に設定された森林については、20年間の管理協定を結び、森林環境創造事業により公的管理が一部行われてきた。 環境林については、公的管理を行うことができると方針を定め、山林所有者も期待したところであるが、ここに来て、県予算の減額から新たな事業採択はしないとの方針が出された。紀伊半島水害により、森林の重要性に市民が目覚め、身の回りにある何気なく放置されてきた森林が放置されたままでは維持できないと言うことを知ってもらった。今回、導入予定の「森林づくり税」により環境林整備を推進することで、災害に強い森林づくりが進み安定的な森林整備が確保されることで地域の発展が見えてくる。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
156	全般	早急を実施して、災害に強い林業を構築すべきだ。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
157	2ページ 4. 災害に強い森林づくりの必要性	私の住む町は前年の台風で大きな被害がでました。そういった被害を少しでも小さくするには、森林の整備が必要だと思います。又、森林を整備することで、水源の確保や、地球の環境にもつながると思います。そのために、森林税を導入し、森林の為に役立ててもらいたいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

158	全般	人と動物も、自然で生かされています。その為、自然が崩壊してしまうと、自然界の動物たちがいなくなってしまう、深刻な状況になります。それを防ぐには、人々の手が必要なのです。又、大気中の二酸化炭素を吸収してくれる森林も無くなってしまいます。それが続くと、世界中の二酸化炭素が増えていって私たち自身の生活に影響を与えます。この先の事を考えていくと、林業をする人々が重要になってくると思うので、森林づくりの為の新たな税の導入が必要だと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
159		森林として多面的機能が十分に役割が果たせていない。放置林が多くあり、近年の異常気象による山崩れの被害が頻発している為、環境整備を進めて欲しいので、税の導入を行っていただきたいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
160	災害に強い森林づくり	災害で谷や林道が荒れたりして、その処理をするのに、すごくお金がかかって、自分も風倒木処理に行ったが、すごく手間がかかり大変なので、取り入れるべきだ。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
161		山村の高齢化と過疎化、さらに木材価格の低迷が、林業経営の意欲を極度に低下させ、ここ数年は施業を破棄した森林が増大している。このように、荒廃が度を増している森林環境を整備することにより、台風による災害防止、水源確保また生物多様性確保などの森林の公益的機能を守り、森林の役割の大切さを県民に広く啓蒙し、みんなで森林を守り育てる意識を高めるために、森林環境税を県民から広く徴収することが必要かと考えます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
162	全般	大通りからは見えないものの、手入れのされていない山が、大半の様に見受けられます。災害(台風、大雨)は、毎度程やってきます。是非「災害に強い森林づくり」を。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
163		災害に強い森林を作るには森林の整備が必要。そのためにも木材価格の低下に歯止めをかけるべき必要があると思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
164	全般	間伐等で出材されてきた木材がきちんとした形で利用され、森林資源として循環されることが重要である。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
165	全般	災害に強い森林を作ることで今後、子供たちの未来に通ずる税であろうかと思い、未来に為に賛成します。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
166	1ページ 3.三重県の森林を取り巻く情勢	「環境林と生産林」について、山間僻地では、人工林の植栽や間伐等の手入れが行われておらず、山地災害の発生を誘発している。従って、地域単位で「環境林」「生産林」の線引きを行い、地域設定をし、環境林(里山)は広葉樹林化を促進し、野生生物(イノシシ、鹿、猿)の餌場を確保し獣害を少なくする等、地域単位で林家の協力体制を構築する。 水源地の涵養の必要性から見て、間伐や植栽に対する、林家への費用補填を行う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
167	全般	・戦後の植林政策によって、杉、桧等が植えられたが、その結果現在どの様なメリットとデメリットがあるか明確にできればと思う。 ・災害に強い森林づくりは非常に重要と思うが、財源の確保のため、新たな税制度は必然と考えるが、そのための人材、具体的な施策が、計画的に実施されるかは、やや疑問が残る。 ・環境林と生産林と森林を区別するとのことですが、その割合重要度、取組の具体案が知りたい。 (骨子案は十分納得できます。)	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
168	全般	森林が荒れています。各地で災害が起こっています。木材の需要が減少し、山の手入れにお金をかけられないから、森林の防災機能が失われていると思います。県民が森林の恩恵を受けている認識を持ち、森林を守る施策が必要だと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
169	全般	日本の風土になじむ、国内産の木材は、日本の住宅に最もふさわしいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

170	全般	<p>賛成部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い森林を育てていくことは賛成。 ・「きづかい」の促進も賛成。 <p>やむを得ないと考える部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな税負担は一定程度であれば、やむを得ないと思う。 ・年間1000円程度であれば、寄附と同じ感覚で、負担可能と考える。 	<p>最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。</p>
-----	----	---	---

3. 税収の使途についての要望

報告書（骨子案）に関する意見のうち税収の使途についての意見を以下のとおりまとめました。
これらの意見への対応については以下のとおりです。

番号	指摘箇所	税収の使途についての要望 概要	意見への対応
1	3ページ 災害に強い森林づくりの施策 基本方針①	伊勢湾内の御殿場から千代崎までの海岸線は堤防が低い上に、年々砂浜の浸食が進んでいる。地震・津波・液状化の事を考えると、堤防の陸側に海岸防災林が必要。海岸防災林はクロマツだけでなく海岸に生育する広葉樹や低木等も植栽し、生物多様性が見られ、砂浜の自然保護にも繋がる物にして欲しい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
2	3ページ 災害に強い森林づくりの施策 基本方針②	伊勢湾内の砂浜には、大量の流木が打ち上げられる。これらの除去と流木の再利用に税を使って欲しい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
3	3ページ 災害に強い森林づくりの施策 基本方針②	水、CO2等森林の重要性を受給者にもっと理解してもらおう施策を重点的に行って欲しい。税の徴収についても理解が得やすいと思う。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
4	全般	広葉樹の山林で十分です。目的があって広葉樹の山を針葉樹に変えたのだから、最後まで、業者が責任を感じるべき。一般人には、針葉樹の山の世話は関係ないのでは？単なる、営利目的の為の植林の過剰による採算割れを「森林づくりに関する税」で賄うことにならない様、願っています。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
5		出口対策としての木材利用促進(住宅や公共建築物に県産木材やあかね材を利用した場合の補助、木材利用の普及啓発(子供のアトピー対策や健康促進につながる等))に使って欲しい。県産木材の利用が森林資源の循環を生み、森林整備につながる。 <同様の内容の意見が82件ありました>	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
6		災害に強い森林づくりのために間伐等、手入れが全くされていない放置林の整備をお願いします。特に間伐な手入れが一度もされていない荒廃森林、伐採後、植林がされていない荒廃森林、竹林等放置された里山の荒廃森林。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
7		木材価格の下落と共に、松阪地域の里山(人工林)が人の出入りも見られず、間伐不足で放置林の状態です。 近年のゲリラ豪雨に下流域の住民、住宅に危機を感じております。親もなくなり、場所も位置もわからない状態です。国策により造成された人工林も利用時期に放置されては先人のたゆまぬ努力が悔やまれます。地球温暖化の抑制と災害に強い森造り、安定をした水源の確保こそが、人と共生する根源であると考えます。木材の利用拡大と適切な保育間伐と林道等の整備の充実を緊急に実行していただきますよう強く懇願いたします。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
8		比較的都市に近く、アクセスしやすい環境林の一部や「森林公園」を「災害に強い森林」のモデルとして、もともとある森林の公益的機能とともに、森林への対災害用の手入れの必要性を広く一般に知ってもらえるように整備し、自然歩道などのように利用してもらい、新たな増税に対する効果などを目に見える形で示す方がよいのではないのでしょうか。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
9		自然災害は今後、確実に増加すると思われまますので、災害に強い森林づくりのための新たな税源を確保することに大いに賛同いたします。 特に、暮らしの安全を守る森林づくりに重点を置いてもらいたいと考えます。ここ数年、人家裏・道路脇の支障木を伐ってほしいという依頼が多くあります。そういった仕事の多くは、高い技術が必要とし、クレーンを必要とすることも多く、また伐った木を処分するにも費用がかかるので、経費がとても高くなります。土砂流出防備・水源林等の公有化など、大きなメニューも必要ですが、小さなところにもきちんと予算の配分がされるような制度にしてくださいことを心	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

		から願っております。 またバイオマス発電や木材を利用したエネルギーの研究にも力を注ぎ、脱原発を目指していきたく思います。	
10		昨年の台風12号後に被害状況を確認して感じたことは、主伐後、放置されている山林に被害が数多く見られる。そのため、治山事業や水源林事業を推進していくのが望ましいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
11		今回ご提案申し上げたいことは、「松食い虫の防除対策」であります。当町には先人達が残してくれた樹齢80年の「松」が相当数残っており、観光資源にもなっております。以前は、防除対策を行っていただきましたが、近年は対策事業メニューがなく、徐々に「松食い虫(マツノザイセンチュウ)」により貴重な「松」が枯れていきます。環境創造林事業等、各森林事業でも対策がなく、公園、防国林も含め、観光資源でもある貴重な「松」の松食い虫防除対策をメニューとして加えていただきますようお願いいたします。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
12		山は将来にわたって、その地からなくなるものではなく、ある程度のお金をかけて守っていくことはやむを得ないと思っていますので、森林づくり税には賛成します。使い道については、骨子案の「災害に強い森林づくり」も大事だと思いますが、近年は山への関心もなくなり、また世代も変わっている山も多く、自分の山でも位置や境界が分からない人が多くなっています。時代的に山で生計を立てていた世代は今の70代までで、60代はサラリーマン世代になっています。このままだと、「災害に強い森林づくり」を県がされようとしても山の作業そのものできない山が多くなってしまわないでしょうか。私はここ10年で対策しないと手遅れになる問題だと思っています。ぜひ、この税金が境界確認・確定に対しても使われるようお願いします。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
13		税の用途は、健全な森林づくりに使用することはもちろんであるが、県民全体がもっと自然に親しめるような山づくりや生活空間の中に木の文化を感じられるような社会資本整備にも幅広く充てるべきで、全体として林業の振興も促しながら健全な森林づくりを行う方が、より効率的・効果的であるように考える。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
14		伐採跡地の植栽について 木材価格の低迷により、伐採されているまま植栽されず、放置されている山林が増加しています。加えて10年後の木材受給率50%の目標を目指し、森林の林業再生プランが推進されていますが、今後の伐採により植林されずに放置される山林がますます増えるのではないのでしょうか。伐採跡地は放置すると森林の持つ公益的機能を損なうばかりでなく、山腹崩壊など、大きな災害と直結します。集落の上流など特に被害が予想される山林について、森林税での植栽をお願いします。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
15		安定的な保安林の森林整備について 保安林は水源涵養機能、土砂崩落防止機能など様々な働きがあります。ほとんどは流域の最深部に位置し、地理的条件は悪いので、間伐など保育を必要とする森林です。特に、近年の台風による水害により、下流域に大きな被害が発生しています。計画的に森林整備を進めることが災害防止、水資源の確保に繋がるので、国補治山事業に加えて、安定的な保安林の森林整備をお願いします。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
16	2ページ 4. 災害に強い森林づくりの必要性	間伐を行っていない山林が多いため、災害が起きている。間伐を促進する事業が必要では？	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
17	2ページ 4. 災害に強い森林づくりの必要性	災害に強い森林を作るため、林家への周知及び、間伐を実施できる事業が必要	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
18		去年の台風の被害での林道整備や復旧を進めていただきたいです。税金を林業や森林づくりの補助金として有効に活用していただきたいです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
19		税金を投じて森林づくりをするならば、そのために出材される原木の処理も含んでの動きでないと従来の原木流通に支障をきたす。例えば、災害復旧支援として木材（製品）を安価で供給するなど	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

20		森林づくり税に賛成します。間伐材がバイオマス発電に利用されることは、もっともっと必要だと思います。経費に対する助成をお願いします。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
21		山林の伐採(間伐ではなく、皆伐)についての経費の助成が必要だと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
22		森林浴に対する遊歩道の新設	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
23	全般	森林づくり税に賛成します。山林の荒廃防止、水源確保 すなわち林業の活性化に使用し、林業就業者の育成にあてるべきだと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
24	全般	森林の多岐にわたる経済効果を考える時、森林づくり税創設、県民全部で支える案に賛成します。水源確保に必要な山林、防災環境保全機能を持つ山林を所有の林家に申請してもらい、その買取資金に使用すべきと考えます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
25	3ページ 基本方針	この森林づくりを支えるための「きづかい」の促進の中でも特に小中学校における...メニューを促進していったらどうか。小中といわずに高も。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
26		整備された森林は、散策など県民が自由に利用できるようにしてほしい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
27		野生鳥獣の被害対策にも活用してほしい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
28		県民が、森林や木材に興味をもつよう参加しやすいいろいろなイベントを開催してほしい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
29		皆伐後に植林がされていない山がたくさんあるが、植林しても鹿等の獣害により、木が育たないというのも原因の1つになっていると思われる。災害に強い森林づくりを進めるのであれば、植林した木が育つ環境づくりを整備しなければならない。そのためには獣害対策にも力を入れていただきたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
30	1ページ 3.三重県の森林を取り巻く情勢	三重県では木材生産を目的として整備する「生産林」においても鳥獣被害が増えている中、集落周辺では対策が進み防護策の設置が進む中、「生産林」では、これといった対策もなされないまま、スギ、ヒノキの剥皮被害が増大し、木材の価格が下がることにより、さらに木材価格の低下に拍車をかけている現状であります。対策として、根元を被覆することにより、被害は減少するが(効果は、実験結果で成果は出ている)資材、労力のコストを考えると、現状では放置している現状であるため、森林整備後の鳥獣被害の助成を行っていただきたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
31	全般	林業採算性の悪化(木材価格の下降傾向)が近年の状況であるが、森林の荒廃を留まらせるべく間伐、植林等の森林整備を大前提に、木材の利用価値を多くの県民に周知させることのできる活動に税利用していただきたいです。特に、木質バイオマスについては、ほぼ輸入に頼りきっている化石燃料とは逆で、国内木材を十分に活用できる事、環境の循環を妨げない事、木質バイオマスを利用する事で環境(森林)への意識を高められる事等、県民に森林づくりの意識を定着させやすいきっかけになるかと思えます。木質バイオマスについては、採算性の課題もあるかと思えますが、草の根的な活動を行う団体等は、森林づくりへの意識も高く、県民への啓発に大きな力を発揮して下さいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
32	3ページ 基本方針	寺、神社等の大きくなりすぎた広葉樹の対策で、伐採したくてもクレーン車が入らないところが多く、高額になることが多い。地域の人たちが、お金を出し合って対処している状況である。高価な文化財がある所も多く、行政側からも何らかの補助が必要である。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

33	3ページ 基本方針	荒れた竹林を整理 間伐する補助を考えていただきたい。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
34	3ページ 5. 災害に強い森林づくりの施策	荒れた山林の整備が必要である。不要木を間伐し木の根が発達した森林を作るには、まだまだ切捨間伐の手厚い補助が必要である。又、流木の防止の為、玉切り等を行わない施策、獣害防止等にもなると思われる。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
35	3ページ 5. 災害に強い森林づくりの施策	森林の現状は、ほとんど下層植物は鹿に食べられ、成木においても鹿により剥皮され、成長はおろか今後、枯れていくことが予想される。すなわち裸山になる可能性もある。下流域の方は「綺麗な鹿だ。」「良い毛並みをしている。」とか言っているが、現状は自然破壊をしている。人と動物の共生の大切さは理解するが、森林保護をするためには鹿(特に雄鹿)を捕獲し処分する施設(焼却)が必要です。捕獲に対する助成制度の強化も含め、早急に対策を願いたい。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
36	1ページ 森林の多面的機能 森林・林業の現状 と課題	間伐の促進と間伐材の搬出等に対しての公的支援をお願いします。(水源涵養など森林の持つ多面的機能の高い森林づくりを進めるには、間伐が必要であり、また林内の間伐材等を搬出して利用することは、資源として有効利用が図れ、CO2を固定し地球温暖化防止にも繋がります。)	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
37	3ページ 5. 災害に強い森林づくりの施策	昨今、不在村者の増加や森林所有者の高齢化、森林の相続等により森林所有者の特定、境界の明確化が進まなくなり、適正な森林管理や森林整備を行えなくなってきております。特に、本県の山間部は地籍調査が殆ど行われていない、このままでは、境界等がまったく解らない森林がますます増えていく状況となっております。しかし、今の地籍調査事業では、とても山間部での調査は進みません。このようなことから、国の地籍調査事業を補完する等の実施しやすい方法を講じていただき、山間部の地籍調査を進捗させ、適切な森林整備による災害に強い森林づくりが実現できるようお願いします。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
38		平成23年度から始まった「森林管理・環境保全直接支払制度」や既存事業では対応できない事業、市町負担がネックとなり実施できない事業等の実施に公的支援をお願いします。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
39		災害に強い作業道とするため、維持管理に対する公的支援をお願いします。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
40		木材利用の推進の関係から以前にあった県産材利用の家に対して、簡易な方法で補助して欲しい、もしくは、固定資産税の減免し市町へ補填するとか。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
41	全般	基本的に税の導入には賛成です。使い道については、できれば個人の山林を買い上げ、公有林化を進めることに税金を使うことが良いと思います。現在の林業情勢もあり、多くの山林所有者が管理や手入れができない状況にあり、近所で山を所有している方もただでも良いから誰かに買ってほしいなどの声をよく耳にします。これを機会に、少しでも多くの山林を公有林にして間伐などを計画的に進め災害に強い山林を増やしてほしいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
42	全般	昨年度から国は基本的に利用間伐に対してのみ、補助することとなりました。ただ現場の観点からすると、距離などの点から搬出に不利なところも数多くあります。そのため切捨間伐に対する配慮もしていただきたいと思っております。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
43	全般	造林放棄地の対策として長伐期に対する優遇、および獣害に対する対策も検討していただきたいと思っております。長伐期に関しては、税の優遇や伐らないことに対する所得補償、あるいは低利の貸付などが考えられるのではないのでしょうか。獣害対策としては、頭数制限につながる方法を考えるべきでしょう。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。
44	全般	林業に親しんでもらうためにも、山へ遊びに行く機会を増やすことも大事だと思います。その点からも、山道の補修に対する援助を検討して頂きたいと思っております。ただ道の補修だけでなく、遭難・事故を防ぐため安全教育などを考える必要があると思います。	最終報告書をまとめる際の参考させていただくとともに、県に情報提供しました。

45	全般	非常用燃料として薪炭の備蓄も含めて、木材需要が増加する制度になるようお願いしています	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
46	全般	間伐材の伐採には国によりさまざまな補助制度がありますが、搬出に対する補助制度は単発的なもので継続が難しい状況と聞いております。間伐材の需要が見込まれる状況になりましたら、是非とも搬出支援に補助をつけていただき、持続可能なサイクルの構築をお願いしたいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
47	全般	日本のエネルギー事情により、山林由来のバイオマス資源に注目が集まっております。三重県の山林に放置されている未利用材の収集に「山のお掃除補助金」を計画頂き、バイオマス発電等のカーボンニュートラルなエネルギー利用を推進していただきたくお願い申し上げます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
48	全般	三重県の推進する環境林と生産林を上記のサイクルとCO2を交えながら、教育現場や自然観察会等の講習に普及していただけるよう希望いたします。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
49	全般	森林における経済的採算性の確保は、極めて厳しくなっている。用材需要の伸び悩み、林業従事者の減少また、切出し経費の負担がその大きな要因です。それには、効率のよい施業形態の確立(たとえば、個別森林を団地化)や機械化、施業に係る作業道整備、未利用材の有効性における付加価値性を高めることが重要です。また、今までのような切り捨て間伐は、降雨時において土石流の誘発など、大きな災害を引き起こす原因となっています。よって、「森林づくりに関する税金」は、森林団地化の為のソフト面の経費や、林道整備・未利用材の集材・運搬の経費に使われる事が良いと考えます。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
50	税の用途について	再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まり、木質バイオマス発電を検討している企業が出てまいりました。未利用木材とリサイクル木材では買取価格に差があるため未利用木材の需要が今後、増えると考えられます。そのためにも境界の明確化、搬出、運搬経費の助成などの支援をお願いしたいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
51	全般	森林づくりに関する税の創設に期待します。除間伐に大幅な補助を、山林に興味のない県民に間伐や地域の森林整備の必要性を強く訴える活動を期待します。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
52	災害に強い森林づくり	奥山の原木搬出には、当地方は山林が急峻な為、作業路の開設には限界があり、架線集材が必要であるが、架線での搬出コストは、木材価格より上回ってしまう為に、実施が不可能な山林が多く存在します。そこで、架線での搬出距離に対しての助成補助を行って頂きたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
53		今後、森林計画制度の変更により、造林補助制度の対象から外れる森林については、森林づくりに関する税を利用し、幅広く山林に対しての補助を期待します。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
54	税の用途について	森林づくり税に賛成です。産業界が不安定な中、間伐材や林地残材をエネルギーに使用し環境づくりに役立てる活動はこれからもっと行われるべきだと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
55		県産材利用の意義について県民の理解を深めるための普及啓発活動	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
56	全般	県民の方に税として負担していただくのは賛成です。徴収した税を、多くの方に理解していただけるよう、広報に使用するのも1つの策だと思います。ただ、一番の問題は後継者不足や森林、林業に関心を持ってもらえないことでしょうか。以前から後継者不足が問題になっている中、効果的な方法が取られていないように思います。田舎の主力産業になっているのに、地域の学生に林業が業としてとれられているのでしょうか？地域外(他県等)から林業に興味を持ってやってくる方は、まだ少しいらっしゃいますが、各地域で林業に興味を持っている方は少ないと感じます。これからの若い世代	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

		が興味をもって取り組める教育に是非多くの投資をおこなっていただきたいと思います。小さな世代から教育することによって、森林林業の価値を正しく理解してもらえらと思います。また、奨学金制度等で県外の教育機関(大学や、専門学校等)への進学ができればとり選択肢が広がり、幅広く人材を養成することができるのではないのでしょうか？	
57	1ページ 3.三重県の森林を取り巻く情勢	森林・林業の現状と課題にもあるように、担い手の高齢化による手入れ不足の森林は増加しており、世代交代により、境界の不明確な森林は、ますます増えているのが現状です。近年の自然災害を防ぐ目的でもある、森林の公益的機能を発揮させるためには、森林の手入れはかせませんが、境界が不明では、手のつけようがありません。世代交代が進めば、境界が不明な森林は、ますます増加すると予想されます。税導入を機に、三重県全域の境界の明確化が進む事を、期待したいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
58	全般	1.まずは災害復元すること。 2.川下に力を入れる。 ・林地間伐材の処理に費用支援をする。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
59	全般	森林づくり税については賛成です。三重県は日本でもトップクラスの森林県ですし、木材の生産についても盛んな地域であり、森を守っていくことは大切なことと思います。ただ、外国産材に押された、一般建築に国産材が利用されず、せっかくの資源を無駄にしていると思います。森林をつくるに当たっては、適正な間伐を行い、育樹することが大切ですが、その切った間伐材の活用についても、森林づくりだけでなく、税の使い道として、県産材の利用を促すような税金の使い方をしていただきたいと思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
60		私自身も山林を保有しておりますが、間伐を行う手間や費用がありません。もし、山林の間伐等をバイオマス発電に活用していただけるなら、「森林づくり税」に賛成です。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
61	全般	報告書については、全体的に理解しやすい内容となっています。切迫する県内の林業の状況や、災害に強い山林づくりも同感です。その延長線上となる、税の必要性も妥当です。ただ、今年の紀伊半島南部の豪雨災害では、山林の保全を怠ったがために引き起こされた人災にも近い状態であったにもかかわらず、現在も手立てがないことが懸念としてあります。あの災害後、私たちは、チェンソーという特殊資機材を駆使した流木処理のボランティア活動をいち早く行い、延べ24日の活動で、全国から延べ199名のボランティアをコーディネートしました。また、この災害を契機に、東紀州地域の山林保全と生活支援を目的とした団体を立ち上げ、海水浴場の流木処理に、延べ800人のボランティアを受け入れ、チェンソーによる流木処理も行いました。 しかし、その後の活動としては、山林保全を主体としたい考えがあっても、私たちのようなNPOが、やすやすと間伐や除伐ができる環境が整備されておりません。また、資金面や伐採後の処理方法についても、システム化がされておりません。このあたりのことが、この報告書に明記されていないので、税金を徴収するようになっても、はたして私たちのような活動が、山林保全に寄与できる原動力になるのかが不明です。その理由としては、個人所有の山林が大半で、その橋渡しをする仕組みがないことや、森林組合と協働していく仕組みもありません。私たちのような、チェンソーを的確に扱え、講習も受けているボランティアは、有事の際は、全国に災害救援ボランティアとしてチェンソーを持参して駆けつけますが、日々のスキルアップに、恒常的に山林保全の活動ができる環境の整備にも期待したいところです。また、この活動で雇用が生まれ、林業に関心を持つ仲間を増やすきっかけにもなる可能性にも期待しています。そういった面で、この税金には期待感もあります。今年の11月には、災害時のチェンソー使用における講習会を開催します。このように、今年の災害を契機に、山林に興味を持ち、チェンソーを扱えるボランティアを増やすことで、災害時と日常の双方で活動できる人材確保も視野に入れていきます。また、世界遺産登録されて	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

		いる熊野古道の保全には、山林の的確な保全も欠かせないことから、この税金の使途については、ぜひ、熊野古道の保全も加味することが必要ではないでしょうか？	
62		森林税については賛成です。森林整備に関する国、県予算が削減されるなか、森林整備を押し進めて、いかなくってはならない現状があると思いますが、今、重点的にやっていかなくてはならない、搬出間伐にはかなりの経費がかかります。高性能林業機械のリース・レンタル経費、原木を山から、市場などへの運搬経費、そして人件費など、それを賄うには程遠い市場市況や、直送先への原木の過剰供給などによる、受け入れ拒否、取引単価の引き下げなど、林業を取り巻く環境は最悪の状況です。このような背景のなか、重要と供給のバランスが取れる施策に森林税を使って頂きたい。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
63	3ページ 5. 災害に強い森林づくり	普通林、保安林に関わらず、奥山で搬出間伐が見込めず、災害の発生の可能性が高い森林について、災害防止の観点から有効と思われる、森林整備メニューの創設をお願いしたい。施業前、施業後の差が目に見えてわかる施工方法であれば、納税者の理解が得られるものと考えます。林業関係者の雇用拡大の事業として位置付けていただけたら幸いです。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。
64	3ページ 「きづかい」促進	小中学校の机、イス、内装等の木質化への促進ですが、2人の子の親として、ぜひ、実施いただきたく思います。	最終報告書をまとめる際の参考にさせていただくとともに、県に情報提供しました。

4. 県への意見・要望

報告書（骨子案）についての意見の中で、県に対する意見・要望を以下のとおりまとめました。
これらの意見への対応については以下のとおりです。

番号	指摘箇所	県に対する意見・要望 概要	意見への対応
1		県自らが率先して県庁の机・椅子等も木製のものに変更するべき。	県に情報提供しました。
2	2ページ	環境林、生産林の区分の明確化を図ること。戦後の植林についてはとにかく植えれば良いと言う事でどこでも生産性、品質等を見捨てて進めてきたように思われる。昔からの林業地として繁栄した地域が戦後の植林木に押され、全般的に木材の価値(強度等品質、価格)が下がり衰退している現状の根本でないかと思っています。 北向き地の成長、良品質の生産が見込まれる地域を生産林として認定し、経営計画を作成、森林所有者の私権を多少制約しても集約化を図り健全な森林を作ることで林業家の育成、継続が出来るのではないか？また、基幹林道の整備をして、やみくも的な作業道の建設は山林崩壊になるだけと考えます。	県に情報提供しました。
3		使途については森づくり施業する地域、担当者が成り立って行けるよう配分して頂きたい。納税者の多くは森林の恩恵を受ける側であることから、この側に受けの良い例えば里山整備等に重点的なることのないようお願いしたい。戦後作った森林を一旦元に戻す政策の一步として森林の区分け、林業家と非林業家の区分け等を基に、経営計画を県が作成し、林業従事者が潤うような施策を推進すれば目的の災害に強い森づくりは早期に出来ると考えます。 何事においても生産者側を育成、成長させる施策が国の発展に繋がるのでは？	県に情報提供しました。
4		今年度から造林補助事業(間伐)の対象山林10ha 以上ということで、それ以下の山林は、なぜ対象外となるのか理解に苦しみます。10ha 以上で作業道が作れるなると斜面の山林なんて限られてきます。ほとんどが急斜面で林道の整備されていない山林であるのが現状です。そのような山林を放置しておいてはいけません。ぜひとも、そのような山林にこそ県の方々には目を向けていただきたいと思えます。	県に情報提供しました。
5		整備が遅れている森林が目立っている現状において、まだまだ切り捨て間伐も必要な森林があるのに、利用間伐しか補助の対象としないのはおかしい。 財源がなければ新しい税を早く確立して広く森林整備が自力でも出来るようにしてほしい。このままではいつ山崩れが起きてもおかしくない状態の森林が目立ってきた。森林組合だけではなく、個人の間伐に対しても、補助金が継続されるようにして、意欲のある者にも手厚い支援をして欲しい。	県に情報提供しました。
6		森林づくり税では、災害に強い森林づくりなど新たな対策に使われると思いますが、既存の森林・林業予算が削減されることのないよう配慮をお願いします。	県に情報提供しました。
7		待っていました。非常に良い制度だと思います。早期実施に向け進んでいただきますよう望んでいます。これにより、造林補助対象から外れる作業(育林)に対して助成されれば、美林が作れると思います。 折角できあがった制度は5年で切らず林業制度が良い方向になって自立出来る様になるまで、10年20年までと言わず継続していただける様お願いします。	県に情報提供しました。
8		これを払わないと 津市に土砂災害が起こるんですか。	県に情報提供しました。
9		森林の機能は、長期にわたって有効であるが、そのためには、継続的な手入れが重要である。この税が一過的なものにならないよう希望する。具体的には、一般的な知事の任期などに合わせた4年の時限立法的なものではなく、20年、50年、100年といった森林の生産の要するに必要な年限は、確保してほしい。金額的には、一律もいいが、一部累進課税的な考えも必要ではないか。特に三重県は、昔から「山どころ」といわれるように、林業が盛んであった地域であるのだから、県全体で林業を盛り上げてほしいと思う。使い方としては、特に林業・森林に傾注している林家に対して林業で生活できる	県に情報提供しました。

		<p>だけの保障をしてほしい。具体的には、搬出材のある一定以下については価格を保証するか。複雑な手続きは、林家だけでなく、作業員や事業者のやる気を削ぐので簡単な申請や書類にしてほしい。得てして公務員は、自分の身を守るため書類でがんじがらめにし、使いにくくしておいて、使わないからいらぬ的な発想をするので、気を付けてほしい。また、環境教育や学校教育にも積極的に使ってほしいが、単純な数値目標を設定するのではなく、大学などの研究機関等と連携し、長期間の継続的なモニタリング(森林教育等の理解度など)も必要ではないか。</p> <p>ほかに、林業は基本的にPRがへたくそ。業界内ではしか通用しないPRやイベントが多いと思う。発想を転換し、タレントやイベント会社等と連携したPR番組の創設やグッズ・キャラクターの開発なども重要ではないか。大学の研究機関に協力することによって林業の未来につながる技術やシステムの開発を援助することも重要。次の林業の担い手(作業員だけでなく、経営する人も含めて)を増やせるような事業を創設し、長期的に助成することが重要。役所の人間は、結果を急ぎすぎる。林業は100年の産業。祖父が植え、父と育て、子や孫の代になってやっとお金になるのに、半年や1年で結果が出るわけがない。</p>	
10		<p>鈴鹿市では公共建築物の木造化が全く進んでいない。県からも強い指導を行うべきである。</p> <p>どのような施策を実施する場合でも、人件費等の間接経費を最小限にする工夫が必要。新税金が公務員増加の為に使われればまさしく本末転倒である。</p>	県に情報提供しました。
11		<p>新税が創設されて、既存の森林・林業予算が削減されるようであれば、県民としてはなし崩し的な増税になってしまうので、そのようなことがないように十分に留意されたい。</p>	県に情報提供しました。
12	3ページ 5. 災害に強い森林づくりの施策	<p>実施団体はどこになるのかが問題である。また、間伐に使われると聞いたがそのメニューを既存のメニューとどのように整理するのか？</p>	県に情報提供しました。
13	5ページ 7. 災害に強い森林づくりの財源確保	<p>既存の事業の財源にしないのは理解できるが、逆に森林環境事業等の現計予算は縮小されている。既存事業との住み分けが難しいのでは？</p>	県に情報提供しました。
14	全般	<p>森林税導入により、放置された山に人が入ることで、自然の災害の抑制、そして林業としての生活の場が、みつけれられるかもしれません。県として、この山林にお金をかけられ、一番いい政策、対策を考えてほしいと思います。</p>	県に情報提供しました。
15	全般	<p>木材について県がもっと動いて三重県産の木材をPRして欲しい。</p>	県に情報提供しました。
16		<p>山林所有者の特定及び境界明確化を県として推進しなければ森林づくりは進まないと思います。</p>	県に情報提供しました。
17	3ページ 5. 災害に強い森林づくりの施策	<p>以前、緊急雇用事業で、バンブーバスターズ事業というのがあったが、チェーンソーで間伐すれば面積が施行できる。又、一時的に間伐しただけでは、また荒れた竹林になるため、継続的な手入れが必要である。</p>	県に情報提供しました。
18	3ページ 5. 災害に強い森林づくりの施策	<p>森林における「地積調査」が進まない中、三重県が森林境界明確事業を実施し、早急に所有界を調査する必要がある。他の事との兼ね合わせではなく、独自の事業として取り組みをお願いしたい。</p>	県に情報提供しました。
19		<p>事業内容を決める際には、その事業に関係ある団体、一般者の意見を取り入れて欲しい。</p>	県に情報提供しました。
20	5ページ 7. 災害に強い森林づくりの財源確保	<p>公共建築物等木材利用促進法の施行をより県民にわかりやすく展開するための、市町や県における公共建築物の木造義務化に向けた基準を、県が率先してお示しして頂きたいです。</p>	県に情報提供しました。
21	5ページ 7. 災害に強い森林づくりの財源確保	<p>必要な経費の内訳を見ますと、新たな税制度を設けるにも関わらず、旧態依然の政策の延長上にあるような、森林づくり・整備に係る比率が高いです。国においては、環境に貢献する対価として、エコカー減税などの手法が取り入れられていますが、三重県も独自の県民にわかりやすい対価として、森林税の活用を検討して頂きたいです。木材の需要なくして、緑の循環はありえません。税の比率配分の斬新な政策を望みます。</p>	県に情報提供しました。
22	全般	<p>私たちの南三重では多くの森林があり、林業に従事している方も多くおられますが、山の仕事では生活ができないとの声をよく聞きます。さらに、景気が悪くなり、地元(南三重)に残って仕事を探すのが困難な状況です。</p> <p>昨年の台風も、2004年の宮川村や紀伊長島での大雨でも多大な被害があ</p>	県に情報提供しました。

		<p>りました。 個人的な意見ですが 県が南三重での雇用拡大を推進していただきたい。 今後の気象状況を考えると、大雨が突発的に来ることが予想されるので、被害が出ないように森林を整備して欲しい。 検討されている税金の制度ですが、の目的を達成するために使われるなら賛同いたします。 そして、環境保護の重要性を「地球人」として県民一人ひとりに真剣に考える必要があると考えます。</p>	
23	2ページ 「環境林」に関して	<p>「環境林」に関しての考え方は、間違っていないと思うが、一部の地域で、その運用がゆがめられ、切り捨て後の木が谷に倒れたままになっている現状を県が見逃し、その政策が「環境」対策ではなく、下流への丸太の流失やダムへの堆積につながった可能性が高いことを素直に反省してから、次の対策を検討すべき。</p>	県に情報提供しました。
24	3ページ 森林づくりを支えるための「きづかい」の促進	<p>「きづかい」の促進の必要額を税収の50%以上にしていきたい。 林地残材が75%という現状を作り出したのは、間伐材補助金に明け暮れた政策の間違いが、伐れば補助金がもらえる状況が作りだしました。ここを勘考し、需要拡大に力を結集していきたい。住宅に1億円、商業施設等に4千万円程度の予算を計上して、三重県産「AS・三重の木・あかね材」を使用させ、需要を促せば、必ず材価が上昇し、林材業界は活性化し、山にかかる意欲も増すこととなるでしょう。 公共建築等木材利用促進法により、知事自らが木材利用促進本部長となっていただきたい。県の木材利用の方針を熟知しているのは、農林水産部門のみで、営繕・県教委・県健康福祉部・県警察本部など、木造化に対する伝達が行き届かず、そのため木造化の理解は低く、知事とその県施策のトップに立って頂くことが、必要だと希望いたします。(税収を使う方法のみでなく、県の姿勢を問いたい)</p>	県に情報提供しました。
25	3ページ 森を育む人づくり	<p>あかねキャンペーンに県をあげて取り組んでほしい。公共建築物等の木材利用の県方針の中で、「三重の木」と「あかね材」の認証材を優先的に使用するとあるが、多くの県民に「あかね材」の正しい知識と利用する意義を、広く理解していただく必要があります。</p>	県に情報提供しました。
26		<p>毎年予算不足の中、この税ができることを期待し、この資金が単なる部門の奪い合いだけに終わらず、単なる過去の配分比率に止まらないよう、ぜひ鈴木知事自らが熟慮され、適正な材価と川下である需要拡大策こそが、最も有効な森林づくりであり、森を守る民たち自らが、災害に強い森林づくりに意欲を出せるようご指導とご英断を切に望みます。</p>	県に情報提供しました。
27	全般	<p>三重県の木がたくさん使われるように、三重県が主体的に公共事業の内容を見直すべきだと思います。公共の建築物に三重県の木が使われ、一般住宅も三重県の木が使われれば、森林の支援にもなると思います。</p>	県に情報提供しました。
28	全般	<p>三重県が発注する事業でも、三重県の中の木の使用をもっと考えてほしいです。</p>	県に情報提供しました。
29	全般	<p>税金は必要。 今の世の中、増税には反対したいところですが、森林づくりでしたら反対はできません。賛成をしたいと思います。 使い道は、三重県産材木で大小の木造公共建築物に使ってほしい。 三重県として使ってほしい金額は、1億円です。</p>	県に情報提供しました。
30	全般	<p>難しいことはわかりませんが、森林をよくするための税、賛成します。 三重県の建物が三重県の山からの木で建てられたら、山も忙しくなると思いますし、荒れた森林がなくなると思います。 山にも人手がいるようになると、職業支援にもなると思います。 三重県の木を使って家を建てる人に援助金を出すことが、三重県の山や三重県自体の活性化になって、「住みたい県 三重県」と言われるようになるのではないかと思います。他県にも、三重県の取り組みをアピールしていくために、1億円以上が必要だと思います。</p>	県に情報提供しました。
31	全般	<p>最近、開発により、山や緑がなくなってきたように感じます。三重県は、緑豊かな県なのに…。山が開発されるのは、所有維持が難しくなってきた現状を感じます。では、所有維持に多くのお金をつぎ込めば良いかという、そうではないと思います。森林整備にお金をつぎ込むことが悪いとは言いませんが、それだけでは問題は解決しないと思います。問題を解決する</p>	県に情報提供しました。

		<p>ためには、一つの案として、様々な人や会社を通じて、流れをよくすること、それは、三重の木を使うということです。</p> <p>三重県が先頭に立って三重県の木を使い、三重県の木を使った建物に補助金で支援すれば、公共建築物や家が三重県の木による木造となって使われ、森林が活性化するという案です。より多くの三重県民に、この税の必要性和その使い道を周知していただき、対象者が支援を受け、この税が他のどの税よりも納得できる税であると認識していただくためにも、1億円以上の使用であって欲しいと思います。</p>	
32	全般	<p>一時的な税の導入はやむを得ないが、林業で財源が確保できる取組みをお願いしたいと思います。</p>	<p>県に情報提供しました。</p>
33	全般	<p>税金は困るが、財源がなければ何もできない。税金を集めるだけでなく、経営が難しい三重県の経営も見直してほしい。苦しんでいる三重県民から税金を集めるわけだから、わかりやすい使い道で、透明感を持ってほしい。基本的には、賛成しなければ前進しないから賛成します。山へのばらまきでは、無駄な税金になる気がします。最終消費者からリンクして山につながるのが理想です。三重県産の木による建築について、個人、公共問わず拡大すれば、山の仕事をしている人が動くようになると思います。山が儲かるなら、仕事としても成り立つようになって、荒れた山が次第になくなるようにおもいます。定着するには、長いスパンでも支援が必要だと思う。使う金額的なことは、数億円が必要になると思う。</p>	<p>県に情報提供しました。</p>
34	全般	<p>・森林の再生 現在県内には間伐されていない森林が大部分である。間伐の促進(川上) 流通ルートの整備 木材需要の発掘、促進(川下)を一貫して取り組む必要がある。 川上: 間伐費、材通設置費、林業機械の設置費等の補助 流通: 木材市場、プレカット工場、チップバイオマス、工場等への補助 支援 川下: 県産材木造住宅への補助金拡大、チップ、ペレット等の常用発掘、ペレットストーブ、ペレットボイラーの設備補助の充実。現在、国、県、市町村の補助制度があるが、森林税導入にあたり、県がイニシアチブを取って協力的に取り組んでほしい。</p>	<p>県に情報提供しました。</p>
35		<p>県内の多くを占める森林で生計を立てている人々にとって森林資源の活用は心からの願いであります。本物志向の今日、県も公共施設や一般住宅に支援をするように求めます。</p>	<p>県に情報提供しました。</p>
36	税の用途	<p>森林法の改正に伴う要間伐森林への補助等の対応は考慮されていますか？</p>	<p>県に情報提供しました。</p>
37	全般	<p>報告書全体的に書かれています内容は、数字等は新しい様に思いますが、林業や環境、災害等携わっている方でしたら誰でも書ける報告書だと思います。今更報告頂く必要は無いと思います。このような報告書は林業白書等々……沢山あります。 『手入れ出来てない山が崩れて災害が発生する。』ただそれだけの事だと思います。 林業政策の失敗が生んだ人災です。 毎年多くの補助金が林業や作業道、製材等々に使われますが、『食べてお終いですね』 長期的に考えて、今必要なのは、作業道や林業機械等の基盤整備だと思います。それも浅く広くの支援では無く、システム全体の手厚い支援が必要だと思います。基盤整備が概ね完了したら搬出支援や需要に関する支援など段階的に考える必要が有ります。 又、川上の一次産業、川中の二次産業、川下の三次産業と全てを連携した政策や考え方が必要だと思います。 全国の大学でいろいろ林業についてや、作業路について、製材や、バイオマス等々お取り組み頂いていますが、何一つ有効な結果が出ていないのも事実で、この先も無理だと思います。行政政策もいろいろ有りますが、このような報告書が出来るだけで、何ら決め手が無いと思います。簡単な話で、林業でお金が儲かれば、みんな山に仕事に入り、自分の山を大事にします。補助金が無いと成り立たない林業、補助金があっても成り立たない林業です。最後に、北海道から沖縄まで同じ政策が成り立つ訳が有りません。三重県内、全てが一つの政策や要領、決まりで、同じ効果が出るわけが有りません。頭を柔らかく、適材適所、ケースバイケース、臨機応変に政策を進めて</p>	<p>県に情報提供しました。</p>

		頂きたいと思います。	
38	5ページ 8. 新たな税制度	<ul style="list-style-type: none"> ・市町のシステム改修費用は県で負担するのか？ ・地方税法の改正により、平成26年から、均等割額が増額となるので、導入する時期も検討して欲しい。 <p>市3000円 3500円 町1000円 1500円 計4000円 5000円</p>	県に情報提供しました。
39	5ページ 8. 新たな税制度	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性や財政的なことは理解できますが、賦課徴収方法が全く検討されていないように思われますがいかがでしょうか。 ・趣旨を県民に充分理解してもらうのであれば、県が直接徴収するべきであると思われま。県民税に付加する(上乘せ)方法は、市町が徴収することになりますので、県が必要に応じて税徴収をしていることにならないのではないのでしょうか。 ・すべての市町にこの賦課徴収方法の承諾が得られているのでしょうか。現在の説明不足の状態では徴収が困難になると思われます。(説明なしのままこの制度が進むのであれば市町職員には、県民に説明責任を果たすことが困難になります。制度を充分理解した県職員に県民に対して説明責任を果たしていただく必要があります。) ・経費(支出)の部分で、市町の税部局に対する費用が明記されていないように思われますが検討されているのでしょうか。 ・県民税として徴収するのであれば、市町システムの改修が必要になり、この経費が必要となりますが、交付金として含まれているのでしょうか。また、県民税の均等割額は1000円から2000円と2倍になりますが県民税徴収委託金の増額を見込まれているのでしょうか。 ・東日本大震災の関係で平成26年から町県民税が10年間1000円の増額となるこの時期に同様の方法での増額するのは、県民の理解が得にくいと思われますがいかがでしょうか。 ・この制度が導入されると、住民税均等割のみ課税の方は、これまでの4000円から6000円となり1.5倍、率にして50%の増税となります。このような増税となることを県民に対して説明会等を開いて理解を得ているのでしょうか。 ・市町担当者(特に税担当)に対して説明不足のまま急いで進める必要がどこにあるのでしょうか。県民に対する説明はもっと不足していると思われま。県庁に直接不満や反対意見を言う県民は少ないと思われ、これらほとんどすべての者は、市町窓口で説明を求めに来庁されることが想定されるのですが、回答していただける県職員の派遣は見込まれているのでしょうか。 ・本制度は、市町職員にかなりの負担がかかることを理解されたうえで、制度設計でしょうか。市町の負担のない制度設計をしてはいかがでしょうか。どうして市町に徴収を委ねるのでしょうか。 ・以上のことから、森林税の賦課徴収方法について再考をお願いします。また、県民に徴収する森林税の具体的な用途を示したうえで導入をお願いし、財源確保の単なる増税とならないようにしていただきたい。 	県に情報提供しました。
40	5ページ 8. 新たな税制度	<p>平成26年度から、個人の市県民税で防災に充てるためという理由で均等割が1000円増税となる。</p> <p>消費税も平成26年から8%に税率を上げる方向で国会で議論が進んでいる。</p> <p>今年10月に導入される環境税については、森林整備に用途を拡大することが検討されている。</p> <p>以上のように今後税収が増える中、さらなる税収増が必要なのか疑問である。</p> <p>景気が悪い中、税収が増える = 即ち増税、ということは我々庶民にとり本当に苦しい。委員は庶民の痛み、中小企業の痛みを理解しうる人が任命されているのか。増税される立場になり考えてほしい。また増税の中の増税が、三重の景気にどのような影響を与えるのかもしっかり考えてほしい。</p> <p>県政だよりみえ6月号の「三重の森林づくり」の欄には増税のことは触れられていなかった。県民すべてに関わることであるのでHP上だけでなく、県政だよりで特集を組み、広く県民に増税案を知らせ、意見を集めるのが誠実な方法ではないか。</p>	県に情報提供しました。